

令和２年７月豪雨復旧・復興本部会議（第１４回）

日 時：令和６年７月４日（木）１３時３０分～

場 所：防災センター（２０１会議室）

次 第

１ 開 会

２ 黙 祷

３ 本 部 長（知 事） 挨 拶

４ 議 事

（１）創造的復興の実現に向けて継続して実施する取組みの進捗

及び令和６年度重点取組事項等について

… 資料１、資料２

（２）広域本部・地域振興局からの報告

… 資料３

（３）創造的復興の今後の進め方について

… 資料４

５ 閉 会

“緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた重点10項目【資料1】

項目

R2年度

R3年度

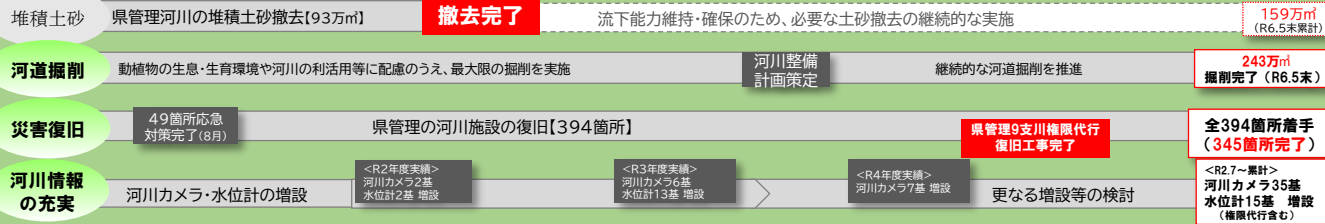
R4年度

R5年度

R6年度～

1

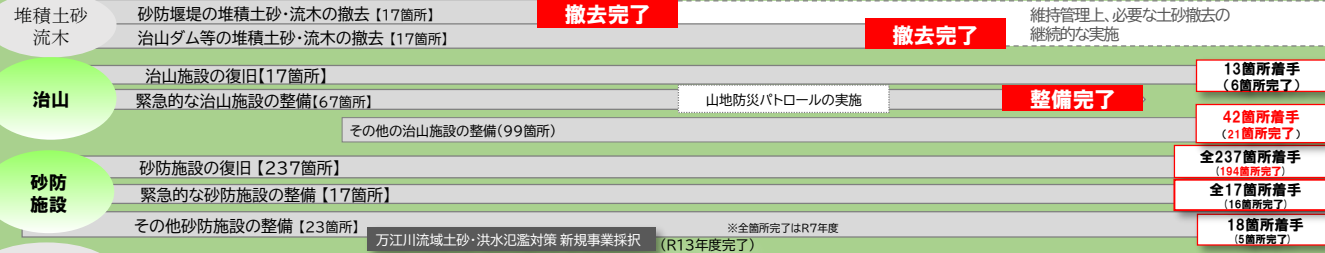
堆積土砂の撤去など河川の緊急対策



R7年度中完了見込

2

治山・砂防による山の再生・強化



R7年度末完了見込

R7年度末完了見込

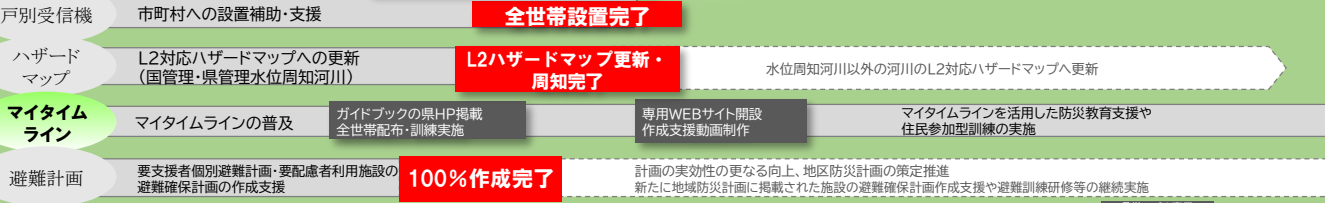
R6年度末完了見込

R6年度中完了見込

R7年度末完了見込

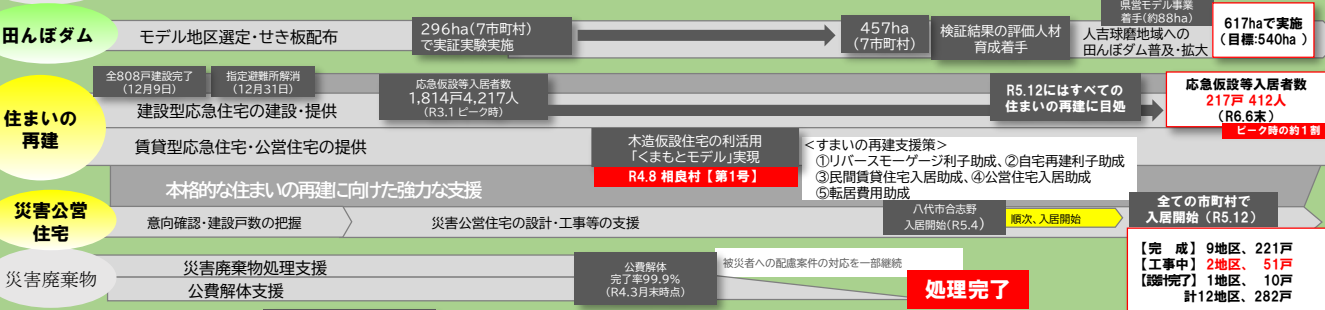
3

“いのち”を守る防災・減災力の強化



4

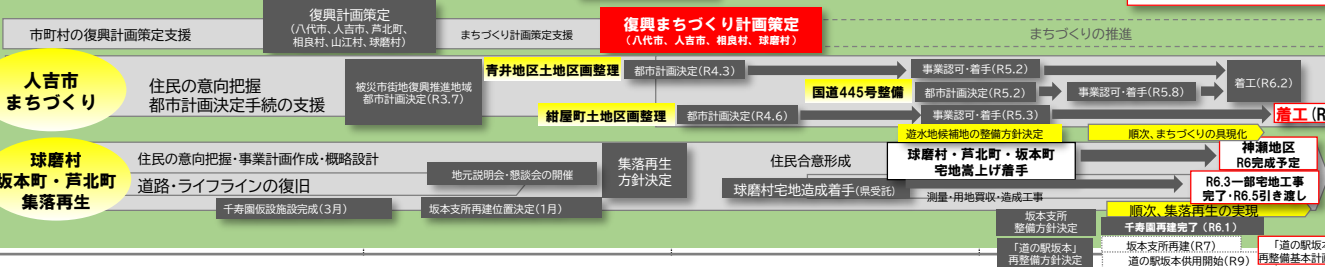
本格的な住まいの再建



R7年度中整備完了見込

5

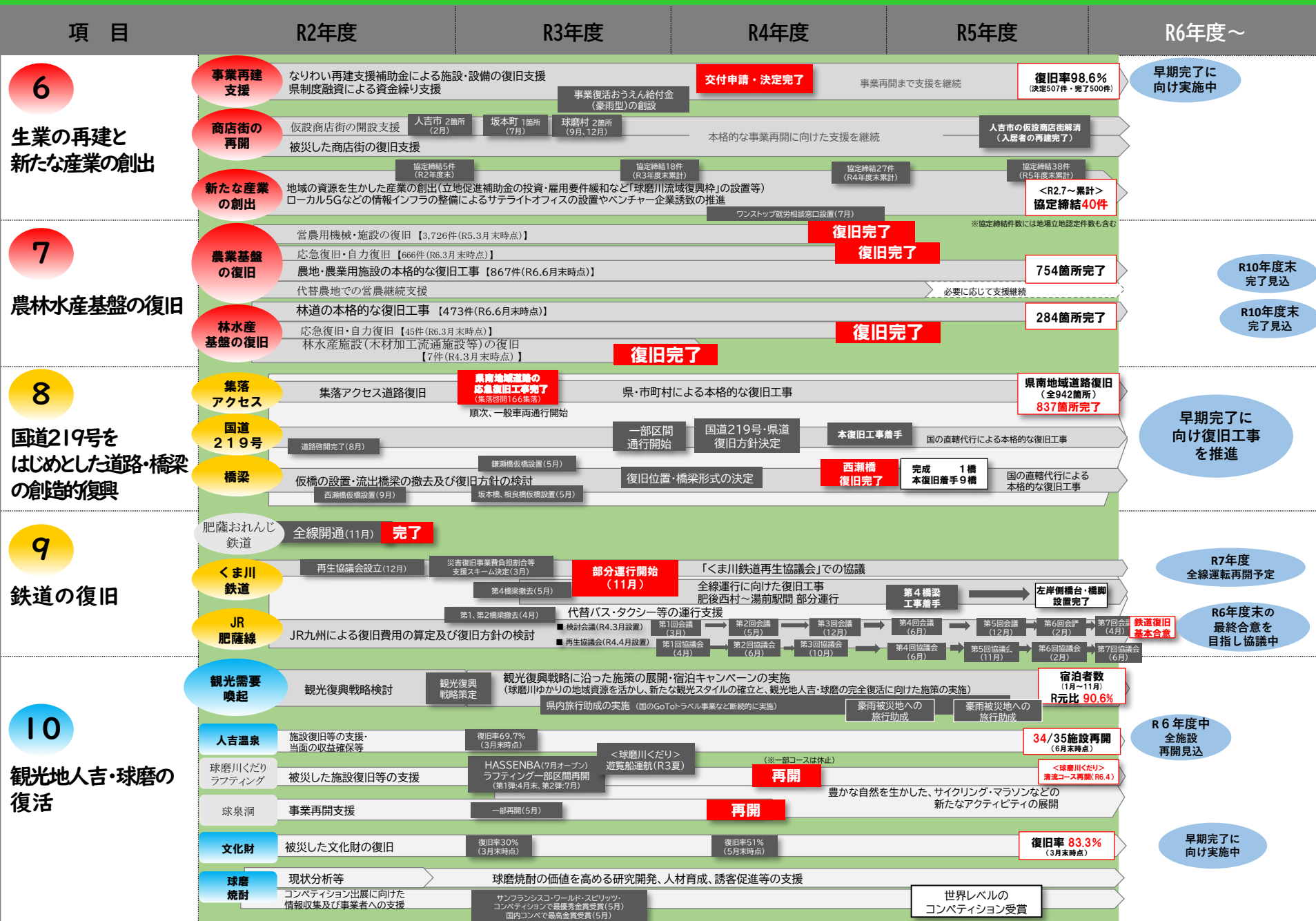
被災地のまちづくりと集落再生



青井地区:R10年度末完了見込
国道445号:R13年度末完了見込
結屋町:R10年度末完了見込

“緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた重点10項目

2



令和2年7月豪雨からの 復旧と創造的復興に向けた取組み

令和6年(2024年)7月4日

熊 本 県

■「緑の流域治水」の推進

- 流水型ダムの進捗状況（環境アセスメント）・・・7
- 流水型ダムの進捗状況（ダムの構造の検討状況等）・・・8
- 遊水地（国管理区間）の整備・・・9
- 球磨川流域の復旧について（公共土木施設の早期復旧の取組み）・・・10
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取組み（御溝川（人吉市）、田頭川（あさぎり町））・・・11
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取組み（中園川（球磨村）、井口川（あさぎり町））・・・12
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取組み（川辺川・梶原川（五木村））・・・13
- 球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取組み（川辺川（相良村））・・・14
- 万江川流域の土砂・洪水氾濫対策・・・15
- 治山事業・災害リスクを低減させる森林づくりの推進・・・16
- 農地・農業用施設を活用した流域治水の取組み・・・17
- “いのち”を守る防災・減災力の強化・・・18
- “いのち”を守る防災・減災力の強化（災害報道連携会議）・・・22
- 「緑の流域治水」の取組み等の見える化・・・23
- 球磨川リバーミュージアム構想の始動・・・24
- 熊本県立大学の取組み（「緑の流域治水」に関する研究活動等）・・・25

■すまい・コミュニティの創造

- 本格的な住まいの再建に係る取組み・・・29
- 人吉市の復興まちづくりに向けた取組み・・・30
- 人吉市の復興まちづくりに向けた取組み（青井地区）・・・31
- 人吉市の復興まちづくりに向けた取組み（中心市街地地区）・・・32
- 人吉市の復興まちづくりに向けた取組み（中川原公園の復旧）・・・33
- アトropolis事業を活用した「川辺川魅力創造事業」への支援・・・34

■災害に強い社会インフラ整備

- 国道219号等の早期復旧に向けた取組み・・・37
- 国道219号等の早期復旧に向けた取組み（道路）・・・38
- 国道219号等の早期復旧に向けた取組み（橋梁）・・・39
- 鉄道の復旧（くま川鉄道）・・・40
- 鉄道の復旧（JR肥薩線）・・・41

■観光を軸とした創造的復興の実現

- 人吉・球磨の観光復興
ー観光産業を柱とした創造的復興の実現ー・・・45

■地域の特色を活かした産業活性化と雇用の創出

- 新たな県営工業団地（八代地域）の整備・・・49
- 県南地域への企業誘致の促進・・・50
- 若者の地元定着促進に向けた取組み・・・51
- 森林資源のフル活用による“ひかり輝く”五木村の実現・・・52
- 相良村における農林業生産基盤の整備推進・・・53
- 県南地域における「農業」と「食」を軸とした復興支援・・・54
- 地域資源を生かした再生可能エネルギーの導入推進・・・55

■若者が定着・還流する環境の創造

- キャリア教育及び就職支援の取組み・・・59
- 球磨川流域の魅力ある学校づくり・・・60

■プランの実現に向けて

- 復興基金を活用した市町村支援・・・65
- 五木村・相良村の振興・・・66

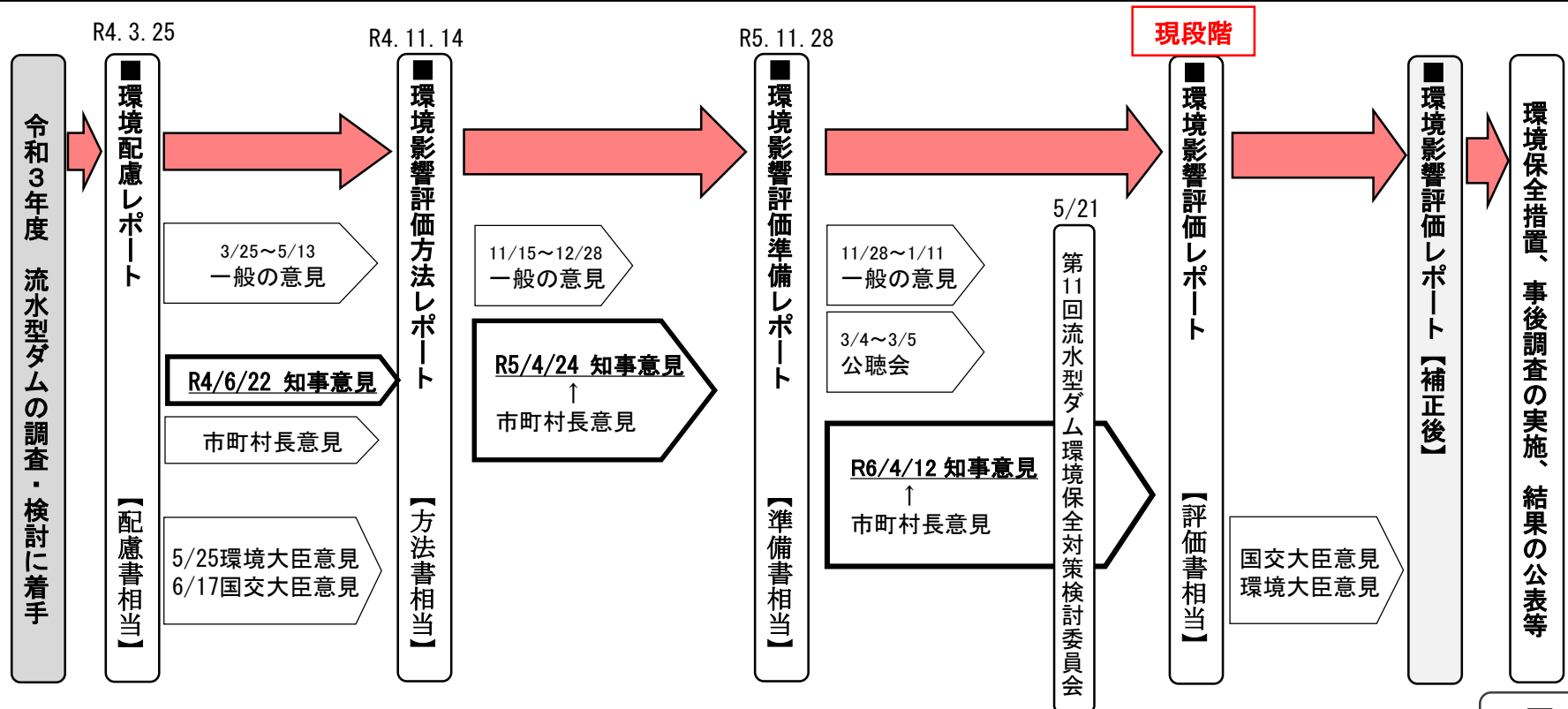
緑の流域治水



◆「緑の流域治水」の推進

流水型ダムの進捗状況（環境アセスメント）

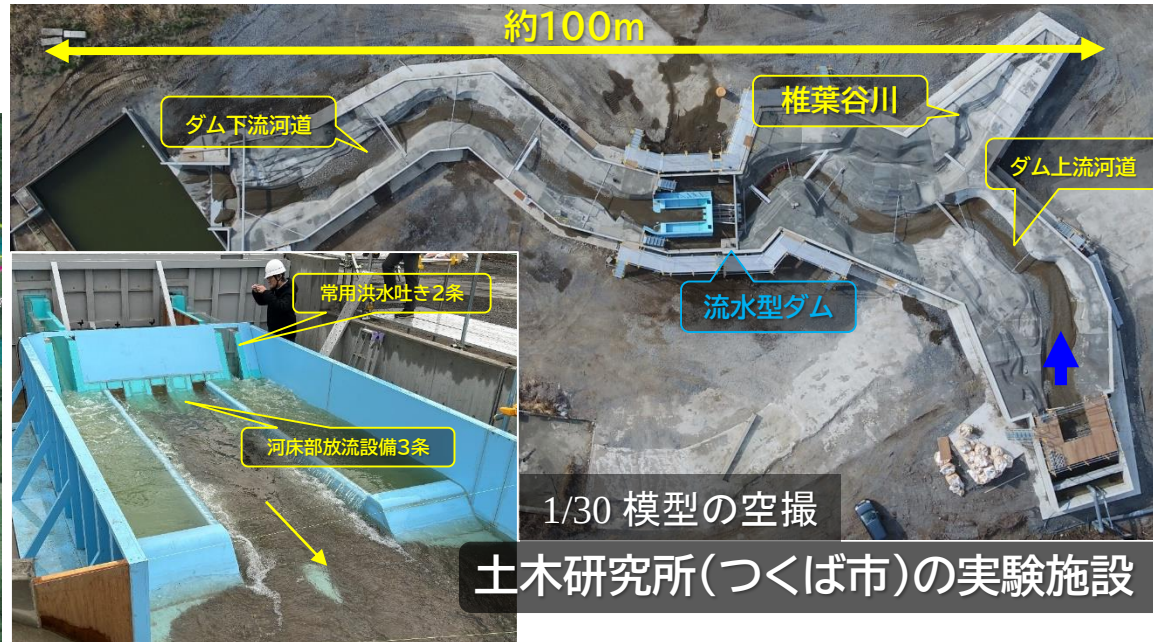
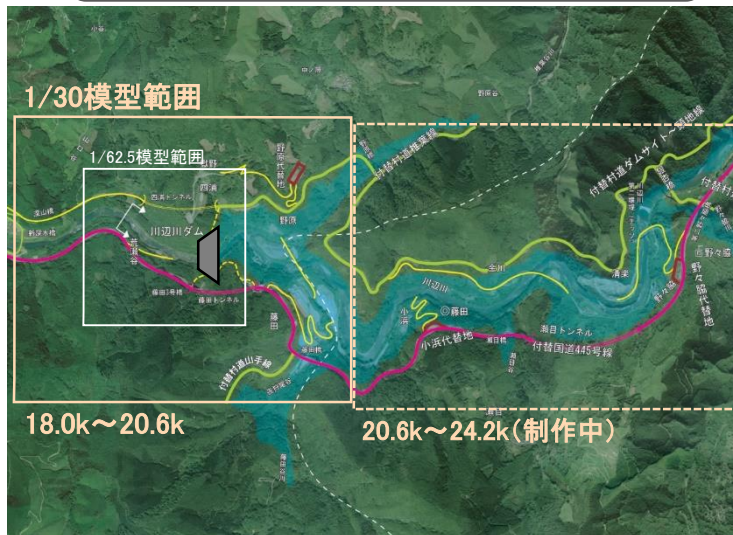
- 令和5年11月28日付けで、国において、「**川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価準備レポート**」が公表され、県アセス審査会や関係市町村長意見、一般意見の概要及び事業者見解、公聴会での意見等を踏まえ、令和6年4月12日に知事意見を提出。
- 5月21日には、国の「流水型ダム環境保全対策検討委員会」が開催され、**準備レポートに対する知事意見には全て対応予定であることが示された。**
- 今後、国において知事意見や一般の方々からの意見の内容等を踏まえ、必要に応じて準備レポートの内容を見直したうえで、**環境影響評価レポートが作成・公表される予定。**



流水型ダムの進捗状況(ダムの構造の検討状況等)

- 令和4～5年度は、約1/60の大型水理模型を用い、流水型ダムの放流設備等の構造を検討。
- 令和6年度は、1/30の超大型水理模型を用い、出水時の石や礫の疎通や堆積、平常時の水面の連続性の検証、更に、上流河道の形状検討や流木捕捉施設の検討を行う。

超大型水理模型の再現範囲



これまで実施した
モデルの動画
はこちら



遊水地(国管理区間)の整備

- 遊水地の整備について、球磨川流域では初めて相良村柳瀬地区で令和5年8月に着工。
- その他の地区においても、説明会等を実施し、工事着手に向けた住民との協議が進められている。
- また、人吉市ではワークショップを実施するなど、平常時の利活用についても検討が進められている。



<ワークショップで出た主な意見>

- ・ 色々なスポーツ（陸上、サッカー、ラグビー、テニス等）ができる複合施設
- ・ 周囲堤の内側を使ったランニングコース
- ・ 越流堤や駐車場のコンクリート舗装を活用したスケートボードなどのアーバンスポーツ
- ・ 花や季節の野菜など市民農園的な利用



【相良村柳瀬地区】 施工状況 (R6.3末時点)



球磨川流域の復旧について

(公共土木施設の早期復旧の取組み)

< 概要 >

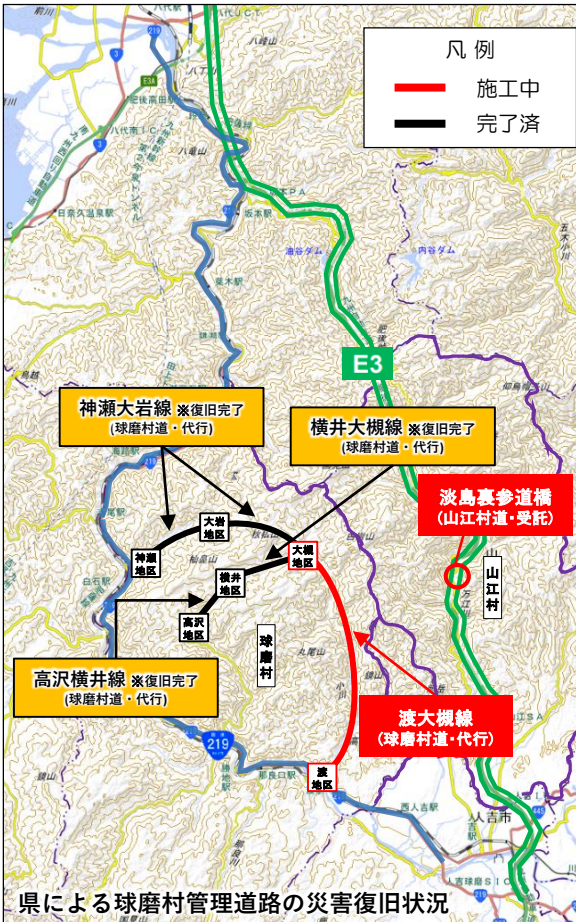
- ・ 令和 2 年 7 月豪雨で被災した全 9 5 9 箇所について災害復旧事業を実施中。完了率約 8 5 % (R6.5月末時点)
- ・ 県による球磨村管理道路 (渡大槻線他 3 路線) の災害復旧において、令和 5 年度末までに 3 路線が完了。

< 令和 6 年度の取組み >

・ 一日も早い公共土木施設の復旧に向け全力で取り組むと共に、引き続き、渡大槻線及び山江村が管理する橋梁の架替工事に係る技術的支援を行うことで、円滑な事業施行を図る。

災害復旧工事の契約及び完了状況 (県工事のみ) R6年5月末時点

	河川・砂防	道 路	代行・受託	合 計
査定決定	631	281	※山江村1箇所 47	959
契 約	631	281	47	959
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
完 了	529	260	26	815
	83.8%	92.5%	55.3%	85.0%



球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取組み (御溝川(人吉市)、田頭川(あさぎり町))

<概要>

球磨川水系河川整備計画に基づき、御溝川(人吉市)では、人吉駅周辺を含む市街地の浸水被害を軽減するため、二次放水路の整備を推進。田頭川(あさぎり町)では、植の里地区周辺の家屋浸水被害を防止するため、河道整備を推進。

<令和6年度の取組み>

- 御溝川においては、**令和6年度中の完了に向け、二次放水路を整備中。**
- 田頭川においては、現在、用地買収を進めており、**下流より順次、築堤工事に着手予定。**

■御溝川 河川改修



<事業効果>

令和4年7月洪水と同規模の洪水に対し、二次放水路下流区間の浸水被害が軽減。

※シミュレーション結果による。

二次放水路

1 現地調査

2 設計・検討

3 用地

4 工事

完成

■田頭川 河川改修

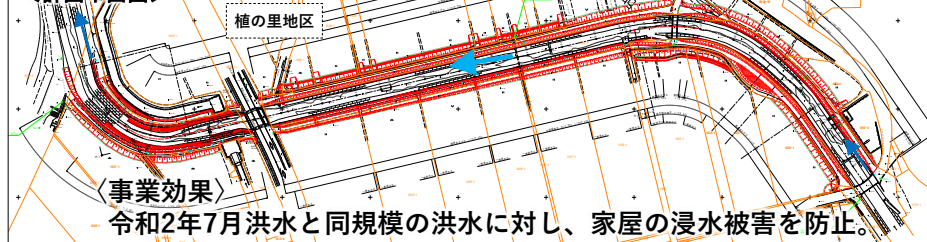
- 令和5年2月 地元説明会
- 令和5年3月 測量着手
- 令和5年10月 用地測量完了
- 令和5年12月 用地交渉開始
- 令和6年度 工事着手予定



<計画横断面図>



<計画平面図>



令和2年7月洪水と同規模の洪水に対し、家屋の浸水被害を防止。

1 現地調査

2 設計

3 用地

4 工事

完成

11

球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取組み (中園川(球磨村)、井口川(あさぎり町))

<概要>

球磨川水系河川整備計画に基づき、中園川(球磨村)では、宅地の浸水被害を解消するため、宅地かさ上げを推進。井口川(あさぎり町)では、洪水を一時貯留してゆっくり流すため、遊水機能を有する土地の確保・保全を推進。

<令和6年度の取組み>

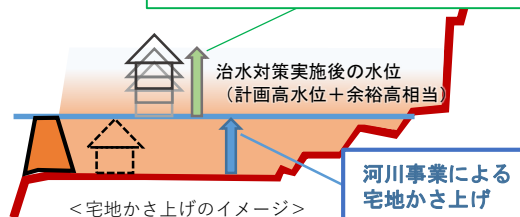
- ・中園川においては、宅地かさ上げ工事に着手。
- ・井口川においては、詳細設計を進めており、用地買収に伴う計画説明会を実施。

■中園川 宅地かさ上げ

- ・令和6年度中に工事着手予定
 - ・被災した公民館に替わる「みんなの家(日本財団支援)」の再建予定地
- ※令和5年度「みんなの家」建築設計済み



実際の宅地嵩上げ高さについては、まちづくりとの連携を図り高さを設定



中園川宅地かさ上げ 計画箇所

1 現地調査 2 設計 3 用地 4 工事 完成

■井口川 遊水機能を有する土地の確保・保全

- ・令和5年8月 事業説明会
- ・令和5年9月 測量着手
- ・令和6年4月 詳細設計着手
- ・令和6年6月 計画説明会実施



遊水機能を有する土地 計画箇所

1 現地調査 2 設計 3 用地 4 工事 完成

球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取組み (川辺川・梶原川(五木村))

<概要>

川辺川（五木村宮園地区）では、地域振興と連携した河川改修と、国道445号の道路改良を実施。
梶原川（五木村竹の川地区）の宅地かさ上げや河川改修、県道五木湯前線の道路改良を実施。

<令和6年度の取組み>

- 宮園地区では、地元意見を踏まえた詳細設計を行うとともに、治水と環境の両立を目指し、環境調査を実施。
- 竹の川地区では、宅地かさ上げの建物調査や河川改修工事、道路改良の詳細設計に着手。

■宮園地区

- 宮園周辺地域振興協議会等で地元のご意見を伺いながら、川辺川河川改修と国道445号道路改良の詳細設計を実施。



1現地調査 2設計 3用地 4工事 完成

- また、治水と環境の両立に向け、生物、環境調査や河床部設計の検討を行う。



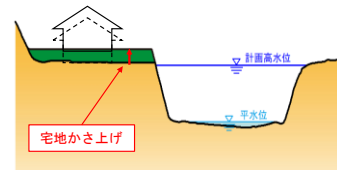
<宮園地区整備イメージ(宮園橋周辺)>



<魚類調査(カゴ網)>

■竹の川地区

- 宅地かさ上げの詳細設計、建物調査等を実施し、建物等の補償交渉に着手。



<宅地かさ上げのイメージ>

1現地調査 2設計 3用地 4工事 完成

- また、梶原川の河川改修(改良掘削)工事や県道五木湯前線道路改良の詳細設計に着手。



<竹の川地区空撮平面図>

<梶原川河川改修>

球磨川水系河川整備計画等に基づく復興に向けた取組み (川辺川(相良村))

<概要>

令和2年7月豪雨により家屋や道路等の甚大な浸水被害が発生した川辺川(相良村)において、球磨川水系河川整備計画に基づく河川改修や、河川整備と連携した国道445号(四浦東地区)の道路改良(かさ上げ)を実施。

<令和6年度の取組み>

- ・永江・前田地区の河川改修を補助事業として新規着手し、前田・下鶴・黒石地区について、工事に着手。
- ・平川・四浦東地区では、河川事業と道路事業で工程調整を図りながら、工事に着手。

■永江・前田地区、遊水機能を有する土地の確保・保全

- ・川辺川の永江・前田地区を今年度、新規に補助事業化。
- ・前田地区の改良掘削工事や、遊水機能を有する土地の周囲堤工事に着手。



■平川地区(河川改修)・四浦東地区(道路改良)

- ・平川地区では川辺川の河川改修と、河川整備と連携した国道445号(四浦東工区)の道路改良を計画。
- ・今年度から、河川改修及び道路改良工事に着手。



万江川流域の土砂・洪水氾濫対策

<概要>

令和2年7月豪雨では、万江川流域内で土砂・洪水氾濫^(※)が発生。今後の出水で再び土砂・洪水氾濫が発生する可能性が高く、流域住民の生活や経済に与える影響を抑制するため、砂防・河川・治山の3事業が連携し、土砂・洪水氾濫対策に取り組んでいる。（都道府県としての取組みは全国初）

<令和6年度の取組み>

・令和6年度は、砂防堰堤や流木捕捉工の設計、用地買収及び既設砂防堰堤の除石工事を実施する。

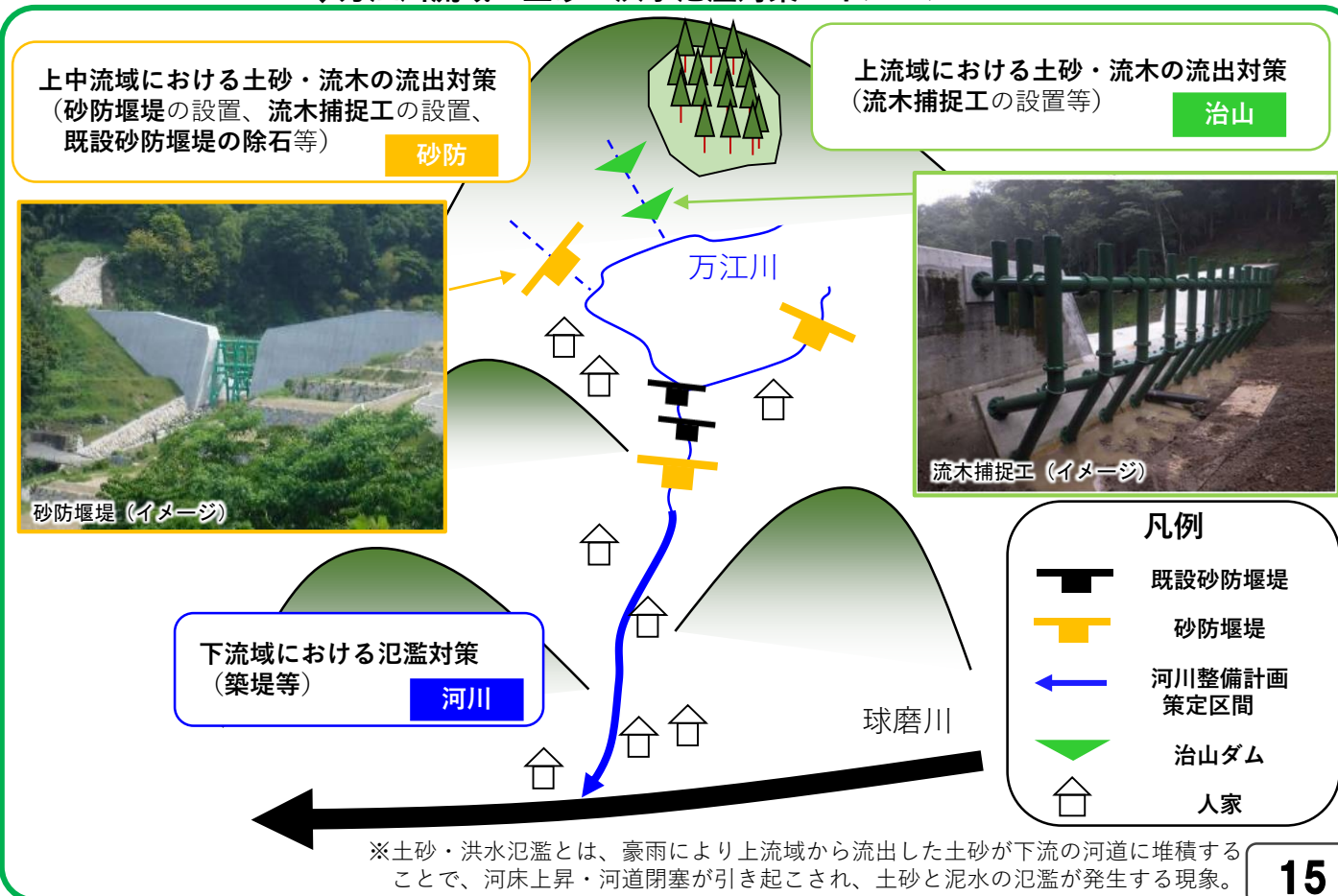
◆万江川の土砂・洪水氾濫状況



◆既設砂防堰堤の除石



◆万江川流域の土砂・洪水氾濫対策のイメージ



治山事業・災害リスクを低減させる森林づくりの推進

1 既設治山ダムの機能回復及び山腹崩壊箇所の復旧整備

○既設治山ダムの復旧及び異常堆積した土砂・流木の撤去

計画箇所数の70%で事業完了



○緊急に復旧すべき山地崩壊箇所における治山対策の実施

計画箇所数の53%で事業完了



2 流域治水に資する治山対策の実施

○土砂・流木の流出抑制対策として球磨川流域の3地区にて「流域保全総合治山事業」を実施中

(具体的な内容)

- ・森林整備
- ・治山ダム
- ・スリット式ダム
- ・山腹工 等



土砂流出対策の筋工(五木村)

(事業計画)

- ①球磨南部地区 R4～R8年度
- ②五木地区 R4～R8年度
- ③五家荘地区 R6～R10年度



3 災害リスクを低減させる森林づくりの推進

○再造林面積の拡大に取り組む事業体に対する支援を強化

- ①再造林追加支援
既存補助金
1,264千円/ha
⇒追加支援
+115千円/ha 等

- ②未経験者雇用援
上限422千円/人



○県がR4年度に公表した「ガイドライン」(※1)の定着に向け、

①市町村や林業事業体を対象とした研修会、

②県内各地域で設立した協議会(※2)を主体とした合同パトロールを実施するなど、林地保全に配慮した林業を推進中。

(※1)「林地保全に配慮した林業のガイドライン」

(※2)市町村、林業事業体で構成

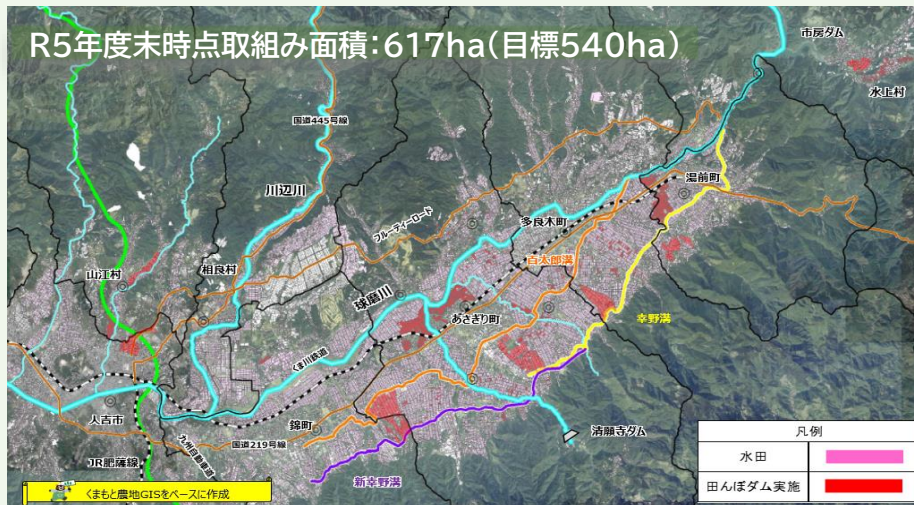


架線集材を普及するための研修会(五木村)

農地・農業用施設を活用した流域治水の取組み

1 田んぼダムによる水田貯留機能のフル活用

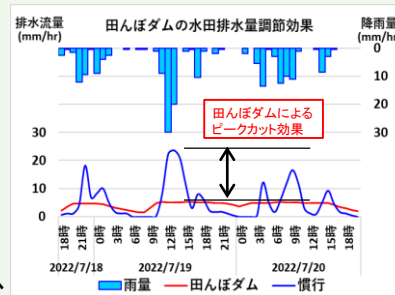
○令和5年度までに目標取組み面積を達成



○2年に1回程度の大雨に対し、**最大約8割のピークカット効果を確認。**

○地域を主体とした取組みとなるよう「田んぼダムマイスター」として、多面的活動組織などの391団体を認定。

○地域の枠組みでの取組みを推進し、全県で普及・拡大に取り組む。



2 農業用水利施設を活用した事前放流の取組み

○農業用ダムにおける取組事例

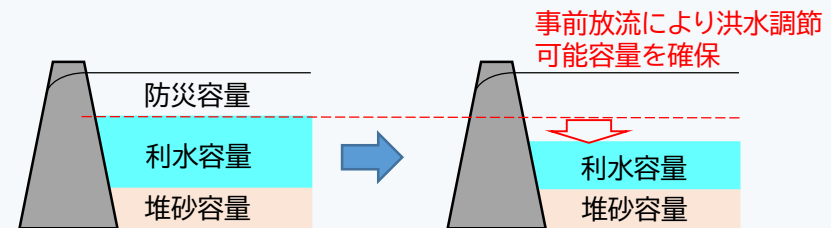
清願寺ダム(あさぎり町)



・清願寺ダムでは、事前放流を行い、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保。

(事前放流実績)

開始日時	終了日時	事前放流量
令和2年9月4日 12:00	令和2年9月6日 13:00	88,200m ³
令和4年9月16日 10:00	令和4年9月17日 10:00	218,000m ³
令和6年6月20日 14:10	令和6年6月20日 17:10	19,000m ³



○農業用用水路(幸野溝・百太郎溝)における取組事例

・幸野溝や百太郎溝といった基幹用水路においても、事前放流による貯水容量確保の取組みを実施。

百太郎溝の取組み状況



“いのち”を守る防災・減災力の強化

令和6年度の重点取組事項

自助

マイタイムラインの普及

- ガイドブックの全中学生への配付、教職員向け研修会等を継続。
- 県政広報媒体等での作成呼びかけを行い普及啓発を図る。
- 新たに外国人向けの翻訳版ガイドブック(タブロイド版)を作成。
(英語、中国語、台湾語、韓国語、ベトナム語)



作成支援動画



マイタイムライン
専用WEBサイト

公助

防災情報通信体制の強靱化

- 被災自治体等と県との防災通信体制を一層強靱化・多重化するため、衛星通信を用いた地域衛星通信ネットワーク第3世代システムを令和7年度までに整備。

豪雨対応訓練の実施

- 訓練シナリオをブラッシュアップしながら訓練を継続。
- 東大先端研(ClimeCORE)と連携し、全国で初めて「気象再解析データ」と「キキクル」を連動させた訓練等、科学的根拠に基づいた防災・減災の新たな取組を実施。



県での訓練の様子

共助

地域防災リーダーの養成

- 地域防災リーダーとして活躍する人材を育成するため、「火の国ぼうさい塾」や「スキルアップ研修」等を継続。



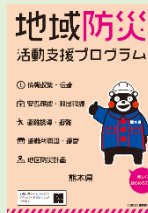
第24回火の国ぼうさい塾(人吉市)
※救命救急講習



第25回火の国ぼうさい塾(八代市)

自主防災組織の活動活性化及び地区防災計画の作成等に係る支援

- 市町村と連携し、自主防災組織活動支援員による講話、助言等を実施することで、各地域における自主防災活動、住民参加型訓練、地区防災計画作成を加速化する。



地域防災活動支援プログラム



県支援による地区防災計画作成(人吉市)



水害避難訓練(水俣市)

個別避難計画の作成支援

- 市町村職員や支援者等を対象に、研修やアドバイザー派遣等を実施し、計画の実効性を向上させる。



避難行動要支援者の
個別避難計画取組事例集

「世界津波の日」2024高校生サミット in 熊本の開催

- 熊本地震や令和2年7月豪雨といった大災害の経験や教訓を次世代へ継承していくことは、本県の大きな使命である
- 県内外、そして海外の高校生が集い、津波など自然災害の脅威と命を守る対策を学ぶ「世界津波の日」高校生サミットを本県で開催し、次世代の防災・減災を担う人材を育成するとともに、国際交流を促進する
- また、同サミットを防災推進国民大会（ぼうさいこくたい、主催：内閣府）と同時期に開催することで、相乗効果を図る

＜本県開催の意義＞

【「世界津波の日」高校生サミット】

- 2015年、国連総会で11月5日を「世界津波の日」として採択（日本提唱）
- 2016年から「世界津波の日」高校生サミットが始まり、これまで5道県で開催（以下のとおり）

	過去開催 道県	参加者		
		国内	国外	計
2016	高知県	164名	284名	448名
2017	沖縄県	149名	174名	323名
2018	和歌山県	186名	293名	479名
2019	北海道	249名	257名	506名
2022	新潟県	226名	* 74名	300名

*オンライン

【本県の状況】

- 熊本地震や令和2年7月豪雨災害をはじめ、大規模災害が発生
- その度に創造的復興を図っており、2023年に「熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設 KIOKU」がオープン、球磨川流域の「緑の流域治水」などの取組も着実に進めているところ

- 本県で開催し、大災害の経験や教訓を国内、そして世界各国の高校生へ継承し、次世代の防災・減災を担う人材の育成等を図る
- 県内外の高校生の国際意識の向上を図り、国際交流を促進する

＜概要＞

- 主催：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会
- 共催：国連防災機関（UNDRR）駐日事務所（予定）
- 後援：国土強靱化推進本部、内閣府政策統括官（防災担当）、外務省、文部科学省、（予定）国土交通省、気象庁、環境省、経済協力開発機構（OECD）、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）、国際協力機構（JICA）、地球環境戦略研究機関（IGES）
- 開催日：令和6年（2024年）10月23日（水）、24日（木）
- 会場：熊本城ホール
- 規模：約540人（国内約320人（県内：約190人/27校、県外：約130人/約50校））
（見込み）海外約220人（約43カ国・地域）

プログラム

- 高校生サミット・交流会
 - 1日目 分科会、開会式、交流会
 - 2日目 記念植樹・記念碑除幕式、総会、閉会式
- 関連行事：事前学習
 - 8月上旬（夏休み）の1日間、県内高校生向けに、熊本県防災センターにて、防災や英語プレゼン等の事前学習会を開催
- 関連行事：スタディツアー
 - サミット開催直前（10月21日（月）22日（火））に、海外参加高校生向けに、現地視察型学習会を開催
熊本市他
・球磨川流域方面 ・阿蘇方面 ・天草方面



*出典：「『世界津波の日』2019高校生サミット in 北海道」報告書



防災推進国民大会2024の開催

◆ 防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）とは

- 防災に取り組む多様な団体・機関が全国から集まり、それぞれの取組み・知見を発信・共有する日本最大級の防災イベント
- 2日間にわたり、多くの団体・機関が参加し、防災に関する様々な講演、体験型ワークショップ、ブース展示、屋外展示等を実施

◆ 2024大会概要

- テーマ：復興への希望を、熊本から全国へ
～伝えるばい熊本！がんばるばい日本！～
- 主 催：防災推進国民大会2024実行委員会
(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)
- 協 力：熊本県、熊本市
- 開催日：令和6年（2024年）10月19日（土）、20日（日）
- 会 場：熊本城ホール、熊本市国際交流会館、花畑広場
- 対象者：防災に関心のある方、学びたい方
- 入場料：無料
- 出展想定数

出展タイプ	現地出展	オンライン	合計
セッション	37	13	50
ワークショップ	20	7	27
ブース展示	90	20	110
ポスター展示	40		40
屋外展示	42		42
ステージ発表	20		20
出展団体オリジナル企画	4		4
合計	253	40	293

➡ 日本全国から防災に関心を持つ団体・個人が1万人以上来場見込み

◆ 県の実施内容

- 大会に向けた現地情報共有・連携会議の開催
- 県主催セッション（パネルディスカッション）の実施
- 熊本地震や令和2年7月豪雨災害の被災地を回る
創造的復興見学ツアーの実施

◆ 開催までのスケジュール（予定）

- R6. 3月 第1回現地情報共有・連携会議（14日）
(大会概要説明・情報共有)
- R6. 4月 **【内閣府】出展者公募案内公表、公募説明会（22日）、
出展者募集（～5/24）**
第2回現地情報共有・連携会議（25日）
(団体の活動内容、関心のあるテーマ等の情報共有)
- R6. 5月 第3回現地情報共有・連携会議（16日）
(グループに分かれ企画内容を具体化)
- R6. 7月 **【内閣府】出展者決定、出展者説明会①**
- R6. 9月 **【内閣府】出展者説明会②**
第4回現地情報共有・連携会議
(出展者からの企画内容共有)

※ 九州初開催となりますので、当日はぜひご来場いただくとともに、大会開催の周知（広報活動）にご協力をお願いします。

★詳細はコチラから→ ぼうさいこくたい2024公式サイト
<https://bosai-kokutai.jp/2024/>



<参考：2023大会の様子>



- 開催地：横浜国立大学（オンライン同時開催）
- 出展団体数：383団体、来場者数：約16,000人

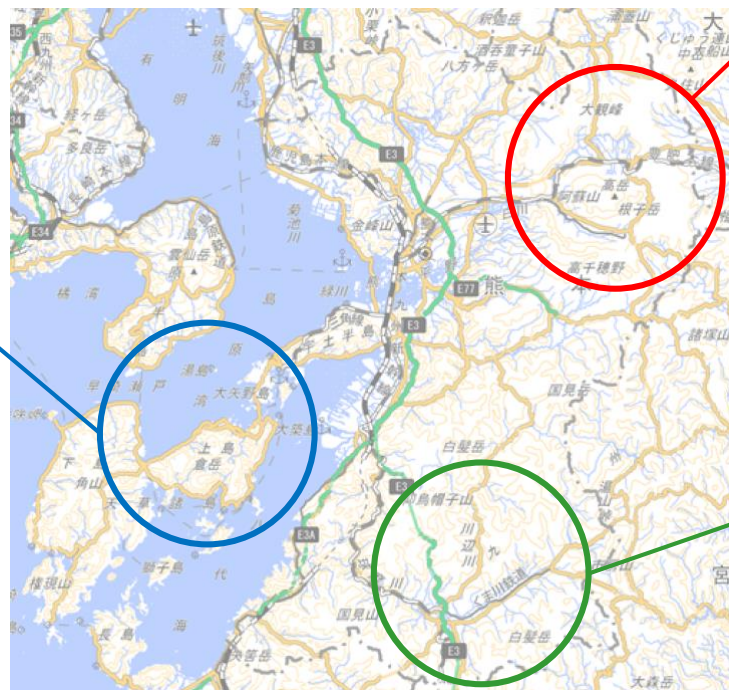
「世界津波の日」2024高校生サミットin熊本に係るスタディツアー

- 時 期：令和6年(2024年)10月21日(月)、22日(火)
- 訪問先：①球磨川流域方面、②阿蘇方面、③天草方面
- 参加者：海外参加者約264名(高校生：約220名、引率：約44名)
- 概 要：3班に分かれ、①～③を訪問し、防災・減災の学習や、地元高校生等との交流等を行う。

防災推進国民大会2024に係る創造的復興見学ツアー

- 時 期：令和6年(2024年)10月21日(月)
- 訪問先：①球磨川流域方面、②阿蘇方面
- 参加者：約70名
- 概 要：2班に分かれ、①、②を訪問し、令和2年7月豪雨災害や熊本地震の被災地を回る。

＜訪問先＞ ★…「世界津波の日」2024高校生サミットin熊本に係るスタディツアーの訪問先
 ☆… 防災推進国民大会2024に係る創造的復興見学ツアーの訪問先



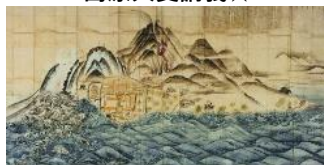
③天草方面

三角西港★



(出典) 宇城市 HP

島原大変講義★



(出典) 肥前国嶋原津波之絵図(熊本大学永青文庫蔵)

イルカウォッチング★



宇土高校、上天草高校、天草高校で交流★

②阿蘇方面

KIOKU(熊本地震震災ミュージアム)★☆



益城町 布田川断層帯★☆



(出典) 益城町 HP

トロッコ鉄道★



大津高校、阿蘇中央高校、高森高校で交流★

①球磨川流域方面

青井阿蘇神社★☆

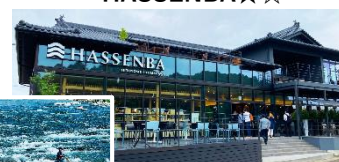


球磨村 語り部★☆



(出典) アーカイブくまもろ HP

HASSENBA★☆



人吉高校、
南陵高校
で交流★



(出典) 緑の流域治水 HP

※現時点の案であり、今後変更の可能性あり。

“いのち”を守る防災・減災力の強化

危機感共有と命を守る災害報道連携会議

〈本会議の取組みと成果〉

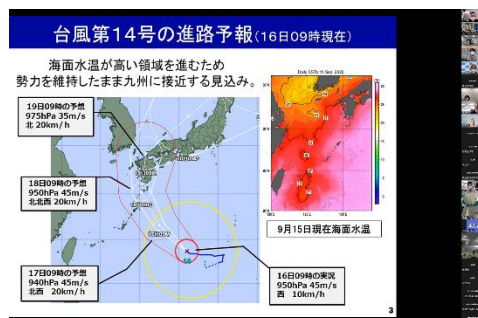
- 本会議で発案された在熊TV5局制作の**早期避難を呼びかけるテレビスポット**を、令和4年度から放送開始。
- 本テレビスポットは、令和6年度も、令和6年**5月27日から9月30日**まで**放送**予定。



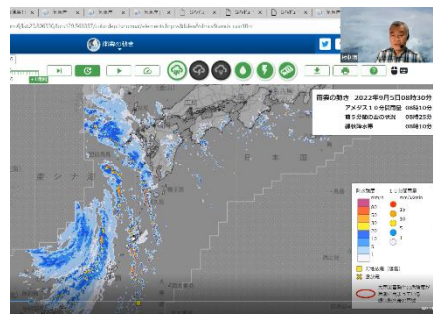
- 令和6年度は、5月8日、16日、6月3日に勉強会を開催し、**出水期に向けた最新の気象・防災情報の共有**を実施。
- 出水期には、大雨や台風の直前に行く臨時ワーキングを開催し、**気象台からの情報提供や専門家による解説、情報共有**を実施予定。自治体における**早期の避難所開設や避難情報発信**、また、報道機関における**早期の報道体制の整備**（L字放送の入力準備等）につなげていく。



臨時ワーキングの開催状況
(オンライン)



臨時ワーキングでの
気象台からの情報提供



臨時ワーキングでの
専門家による分かりやすい解説



L字放送の実施

「緑の流域治水」の取組み等の見える化

- 「緑の流域治水」について、球磨川流域住民をはじめ広く県民に情報を発信するための見える化の取組みとして、**「緑の流域治水」の取組みを分かりやすく伝える動画や模型などを制作。**
- 令和6年度も、これらのコンテンツを活用し、**球磨川流域市町村の小・中・高等学校にて出前授業等を実施。**
- 今後も様々な機会を捉えて、「緑の流域治水」の取組みの更なる情報発信を行っていく。

制作コンテンツ

動画

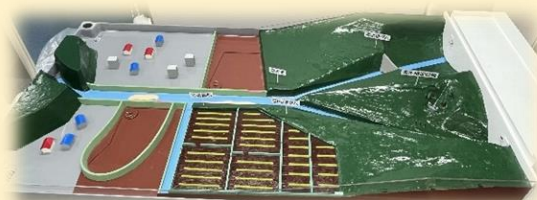
解説動画



児童生徒向けの動画



模型



コンテンツ貸出



当局作成の立体地図を活用したNPO法人防災WESTによる防災講話(6/14実施 坂本中学校)

くまもと防災ウィーク

県民の防災意識を向上させるため、6/30(日)から7/6(土)までを「くまもと防災ウィーク」とし、豪雨の教訓や「緑の流域治水」の取組み等を発信。また、期間中は、県内6ヶ所でパネル展を開催。



出前授業

本日【7/4(木)】2校で実施

＜人吉高校＞

対象：1年生(約230名)

＜球磨中央高校＞

対象：1年生(約100名)



出前授業イメージ

※7/12(金)湯前小・万江小、7/16(火)佐敷小、7/17(水)上小でも実施。今後も各学校と調整後、順次実施予定。

球磨川リバーミュージアム構想の始動

<概要>

○球磨川流域一帯をリバーミュージアムとして、災害遺構、自然、文化史跡を観光資源とする
とともに、防災学習の場として提供するもの。

○国、県、流域12市町村の行政、観光、教育等の関係団体と連携し、今年度中に始動。

<令和6年度の取組み>

「球磨川リバーミュージアム構想」の機運醸成及び方向性を決定
するために以下の取組みを予定。

- ・球磨川流域の地域資源の確認・調査・分析
- ・自治体・団体等を含めた勉強会やアドバイザーを交えた準備会議の実施
- ・キックオフフォーラムの開催

<イメージ図>



熊本県立大学の取組み (「緑の流域治水」に関する研究活動等)

「緑の流域治水」に関する最先端の研究活動

これまでの取組み

- ・ JST共創の場形成支援
プログラム採択 (R3. 10)
→キックオフミーティング開催
(R3. 11)
- ・ 雨庭整備や氾濫流のコントロール等の「緑の流域治水」の研究の推進
- ・ 行政職員や中高生への勉強会の実施 など



キックオフミーティング

今後の取組み

- ・ 公共事業等と連携した社会実装に向けた更なる研究活動の推進
➢ 吉尾川(芦北町)での河道内貯留機能及び多自然川づくりの取組み など
- ・ 行政職員の緑の流域治水のリテラシー向上、
中高生への雨庭等の学びの場の提供
- ・ 肥後銀行等と連携した球磨川流域
での取組みの県内への横展開
➢ 「くまもと雨庭パートナーシップ」
による雨庭の普及 など



被災地域復興・再生支援事業(R2～)

これまでの取組み

- ・ 無料オンライン講座
「球磨川流域圏バーチャルキャンパス」
の開講(R3～)
- ・ 研究・活動支援
様々な研究室が被災地域の復興・再生
に向けて活動を実施
➢ 先進建設・防災・減災技術フェアin熊本
(R4. 11 R5. 11)
➢ くまもと産業復興エキスポ(R6. 2) など



今後の取組み

- ・ R6も引き続き学内外の多彩な講師陣による
「球磨川流域圏バーチャルキャンパス」
を配信(予定: R6. 10. 1～R7. 1. 31)



受講料
無料
全11講座

◆すまい・コミュニティの創造

本格的な住まいの再建に係る取組み

これまでの取組み

- 市町村や地域支え合いセンター等と連携し、伴走型で住まいの再建を支援。
- ピーク時の約9割が住まいの再建を実現し、残る217世帯(412人)も再建の目処が立っている。
- 木造仮設住宅の約5割が市町村に譲渡され、住まいの再建先等として利活用されている(予定含む)。



今後の取組み

- 残る217世帯について最後のお一人が住まいの再建を果たされるまで、寄り添った支援を継続する。
- 住まいの再建後も、災害公営住宅入居者等の必要な見守り・支援を継続するとともに、住民主体のコミュニティ形成を支援する。



人吉市の復興まちづくりに向けた取組み（青井地区）

<概要> 土地区画整理、国道445号改築及び“かわまちづくり”の一体的な整備により被災市街地の復興を推進。
<令和6年度の取組み> 土地区画整理における仮換地指定や造成工事を進めると共に、
国道445号改築に係る用地取得や歩道整備工事を推進。

青井被災市街地復興土地区画整理事業 (事業費：約46億円 事業期間：R4年度～R10年度) ※R6.5末時点

仮換地	指定済 72画地	全107画地
	67.3%	
工事	着手 9画地	全107画地
	8.4%	



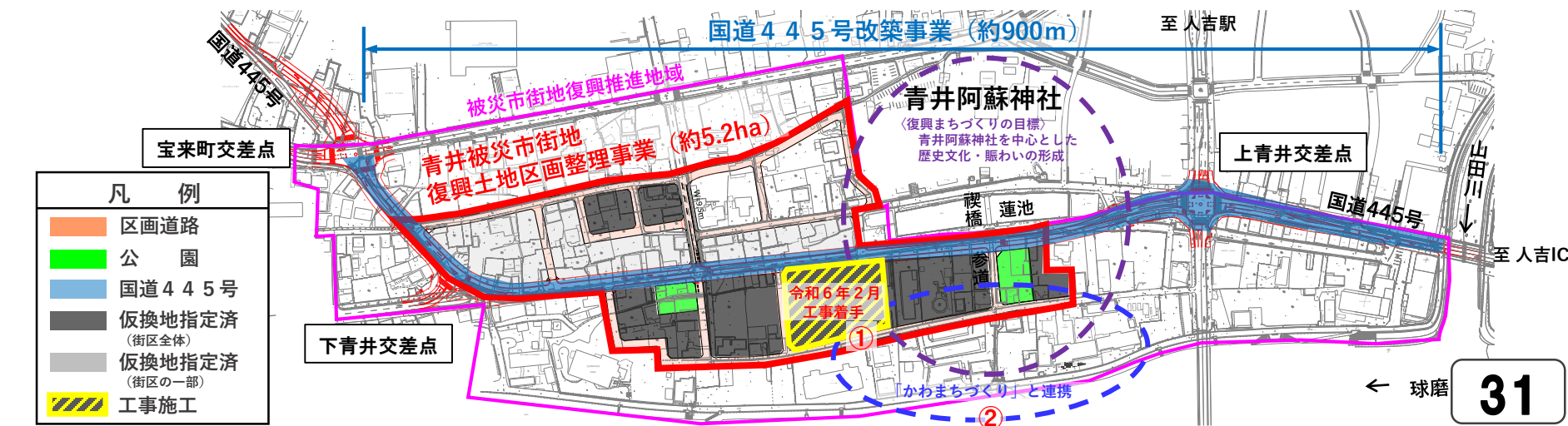
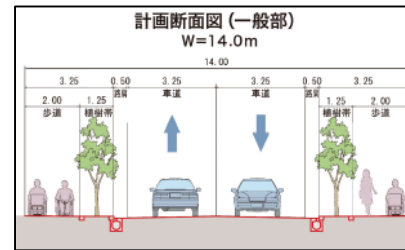
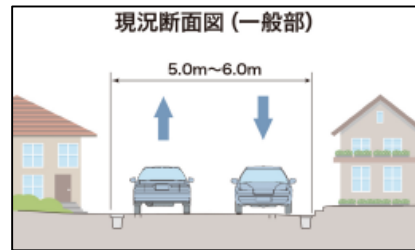
造成工事の施工状況(R6.5)



青井阿蘇神社
←球磨川 青井阿蘇神社周辺(現況)

国道445号改築事業 (事業費：約25億円 事業期間：R4年度～R13年度) ※R6.5末時点

用地	国道沿線の仮換地指定の状況	指定済 37画地	全47画地
	78.7%		
区画内	※補償契約後に工事施工が可能		
区画外		契約済 0人	全50人
工事	歩道部	着手延長 73m	合計 1,808m (上下線)
		4.0%	
車道部	着手延長 0m		合計 904m



人吉市の復興まちづくりに向けた取組み(中心市街地地区)

<概要> 紺屋町地区において、土地区画整理（市施行）、山田川河川改修（県施行）及び“かわまちづくり”の一体的な整備により被災市街地の復興を推進。

<令和6年度の取組み> 土地区画整理における仮換地指定や造成工事を進めると共に、山田川河川改修の全体施工計画策定、建物調査及び用地取得を進める。

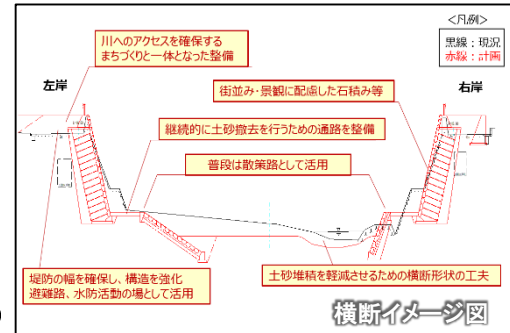


紺屋町被災市街地復興 土地区画整理事業	
事業主体	人吉市
面積	約1.2ha
施行期間	R4年度～R10年度
事業費	約17.6億円
進捗率	12.5% (事業費ベース)



山田川広域河川改修事業	
事業主体	熊本県
延長	0.5km
施行期間	R4年度～R15年度※
事業費	約17.6億円
進捗率	7.1% (事業費ベース)

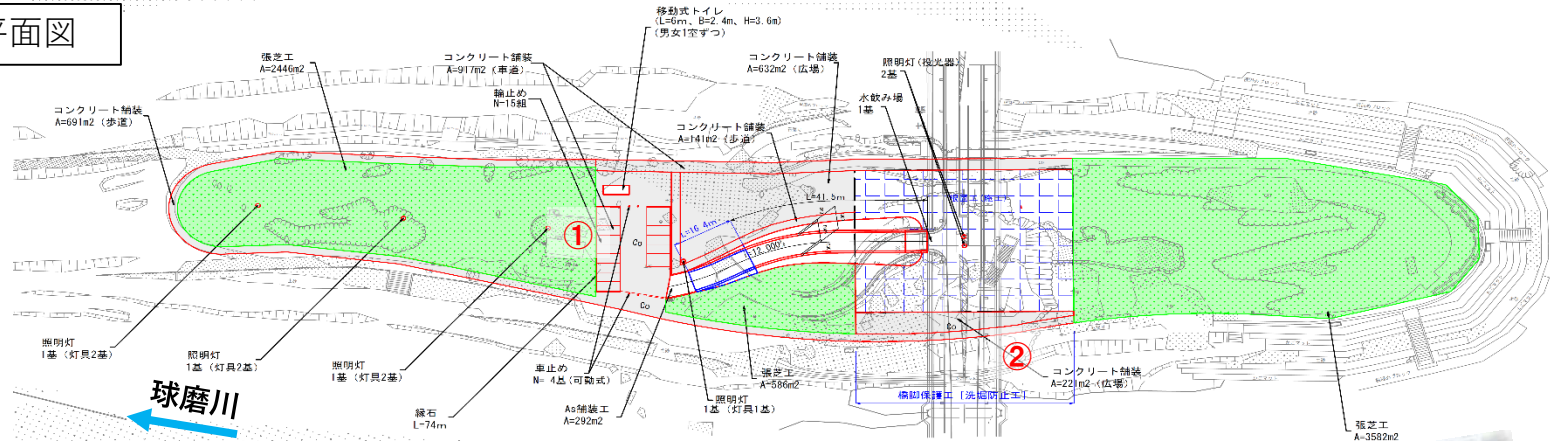
※土地区画整理事業隣接区間の整備期間はR4～R10



人吉市の復興まちづくりに向けた取組み（中川原公園の復旧）

<概要> 令和2年7月豪雨災害で被災した人吉市の中川原公園における災害復旧事業を実施。
<令和6年度の取組み> 令和5年度から整備を進めた斜路が完成し、
令和6年度は、園路や芝生広場等の園内整備を行い復旧完了。

復旧平面図



事業概要（設計変更後）

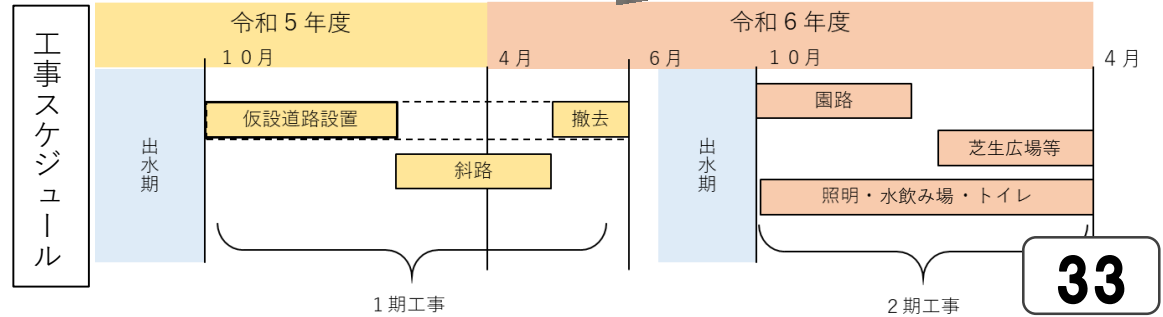
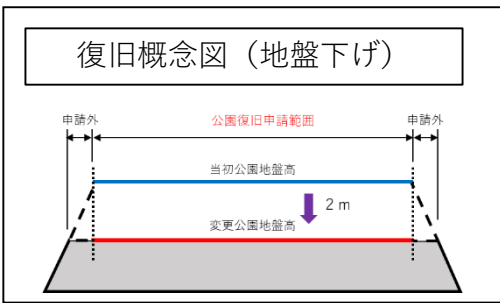
事業費：約320百万円
（内訳）
災害費：約220百万円
他事業費：約100百万円



斜路施工状況(R6.4)



被災時写真



アートポリス事業を活用した「川辺川魅力創造事業」への支援

<概要>

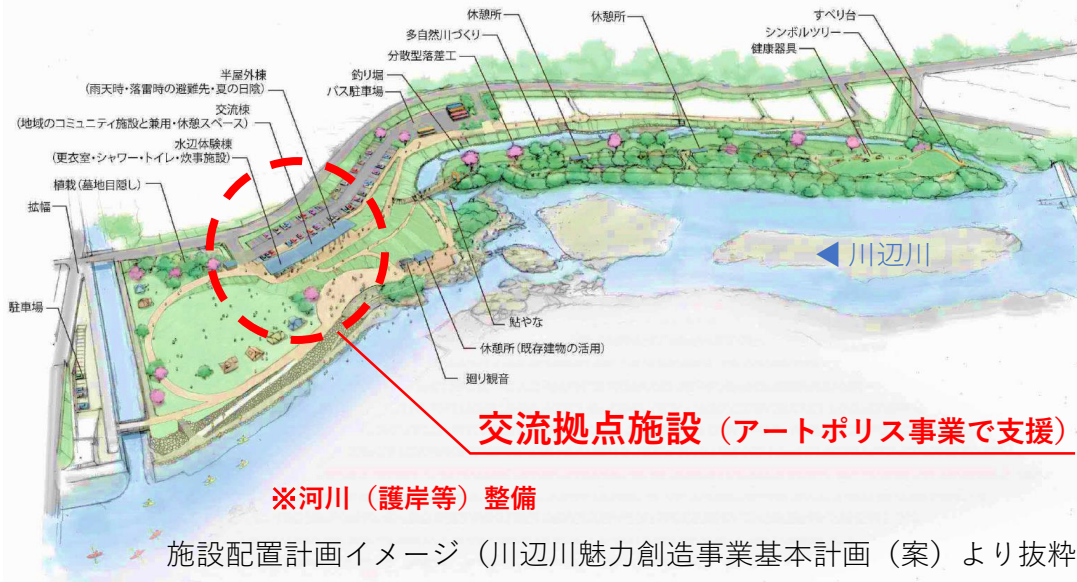
相良村では、川辺川の魅力を村内外に発信し、川辺川を中心とした周辺環境・地域資源を活かした地域活性化・関係交流人口の増加につなげるため、廻地区で県の河川整備と連携し、拠点施設の整備を進めている。
そのメインの建物となる交流拠点施設について、アートポリス事業で住民参加型の施設整備を支援していく。

<令和6年度の取組み>

- ・相良村の基本計画において、最も相応しい設計者選定を支援する。
- ・設計協議に参加し、技術的な助言を行う。

川辺川魅力創造事業

川辺川魅力創造事業基本計画に基づき、交流拠点施設（交流スペース、多目的スペース、炊事場、事務所、シャワールーム、トイレ等）を整備する。



■地域の魅力の発信と住民参加型の設計

- ・設計者の公開審査、ワークショップ等の実施
- ・住民を対象としたイベントや見学会の実施
- ・様々な手段による情報発信 等

⇒**交流人口拡大・地域活性化へ寄与**

■村への技術的な支援・助言

- ・施設整備に関する条件整理
- ・設計者の選定、募集要項作成等
- ・設計者や施工者との打合せ 等

⇒**建築技術職員がいない村職員の負担軽減**

◆災害に強い
社会インフラの整備

国道219号等の早期復旧に向けた取組み

<概要>

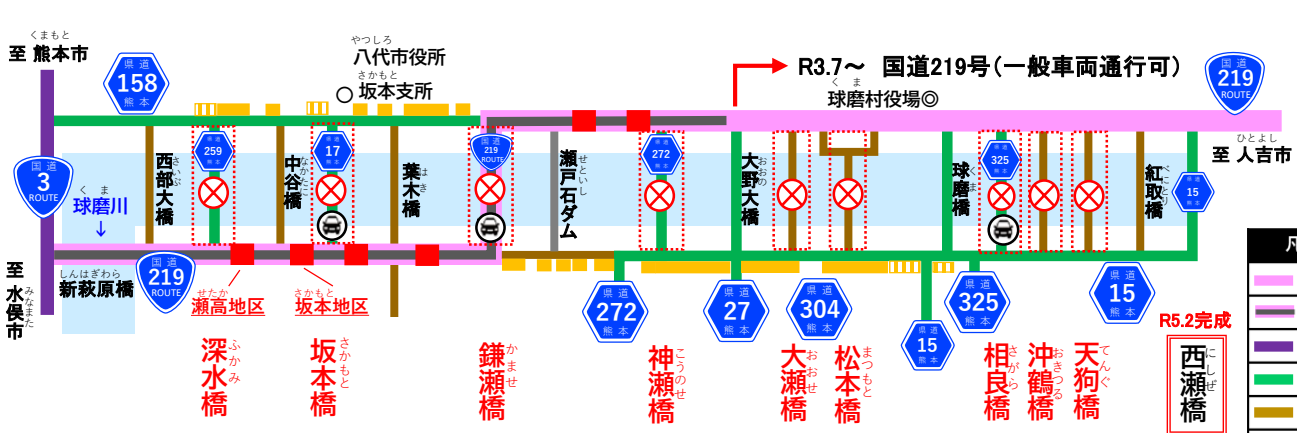
球磨川の流失橋梁（10橋）、国道219号及び対岸道路等（兩岸延長約100km）の早期復旧に向け、国の権限代行により災害復旧事業を実施中。

<令和6年度の取組み>

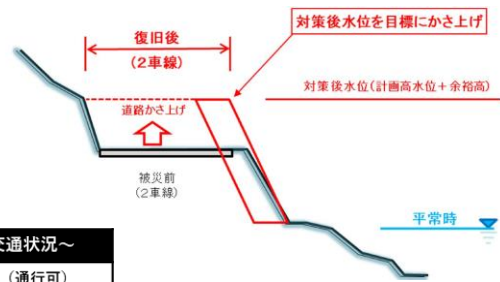
- ◆国道219号および対岸道路（国による権限代行）
 - ・『国道219号等の道路復旧方針』（※）に基づき、避難計画やまちづくり計画等を踏まえ、引き続き国・県・市町村が連携し、被災した道路護岸の復旧や嵩上げ工事など本復旧工事を推進。
 - ・国道219号の瀬高・坂本地区においては、護岸復旧工事が概成したため、新たに嵩上げ工事に着手予定。
 - ・対岸道路においては、迂回路整備（JR肥薩線活用）が概成したため、新たに本復旧工事に着手予定。
- ◆橋梁（国による権限代行）
 - ・流失橋10橋のうち西瀬橋は完成（R5.2）、残る9橋の上下部工工事を推進。
 - （坂本橋 R6.4～ 上部工架設開始、沖鶴橋 R6.6～ 上部工架設開始）

（※）令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第9回）R4.3.24 P43参照

<国道219号等 復旧状況>



<国道219号 復旧イメージ>



凡例 ～交通状況～	
	国道219号（通行可）
	国道219号（通行止）
	国道
	県道
	市町村道
	流出橋梁
	仮橋設置（通行可）

凡例 ～復旧状況～	
	本復旧工事中（道路）
	本復旧工事中（橋梁）
	迂回路整備済（JR肥薩線活用）
	迂回路整備中（JR肥薩線活用）

国道219号等の早期復旧に向けた取組み(道路)



瀬高地区(国道219号)



坂本地区(国道219号)



権限代行区間 球磨川沿いの両岸 延長約 00 km・橋梁 10 橋



至: 人吉市

球磨川

至: 八代市街

R6.6末時点 A2~P1間架設完了

鉄道の復旧(くま川鉄道)

発災直後の状況



流失した球磨川第4橋梁



浸水した鉄道車両

・人吉温泉(人吉市)～肥後西村(錦町)間で橋梁流失や車両浸水等の被害発生

R5年度末までの取組状況

- ◆令和2年7月20日
県の「高等学校等通学支援事業」により代替バスの運行を開始
- ◆令和2年8月27日
臨時取締役会において鉄道による復旧を決定
- ◆令和2年12月25日
「くま川鉄道再生協議会」を設置
- ◆令和3年11月28日
肥後西村～湯前間で部分運行開始
- ◆令和5年1月26日
球磨川第4橋梁建設工事に着手



くま川鉄道再生協議会設立総会(R2.12.25)



部分運行再開後の通学利用者(肥後西村)

R6年度の取り組み



球磨川第4橋梁の工事状況(R6.5)



球磨川第4橋梁の完成イメージ

◆災害復旧工事の実施

- ・国・県・市町村による財政支援を実施
- ・R5年度までに左岸側橋台及び橋脚の設置が完了
- ・R6年度から上部工(橋桁)の架設に着手予定

◆上下分離方式の導入に向けた取り組み

- ・県及び市町村により、復旧工事完了後に第三種鉄道事業を担う新法人を設立
- ・くま川鉄道湯前線の鉄道事業再構築実施計画の策定に着手

- 令和7年度中の全線運転再開を目指す

鉄道の復旧（JR肥薩線）

R5年度末の達成状況



- ・ JR肥薩線の八代（熊本）～吉松（鹿児島）間で450か所が被災（うち県内448か所）
- ・ JR九州が復旧費用約235億円と試算
- ・ 鉄道復旧に向けた協議体として、国・県・JR九州で構成する「JR肥薩線検討会議」と、県・地元12市町村で構成する「JR肥薩線再生協議会」を創設
- ・ 国に財政支援の拡充を要望
- ・ 第3回検討会議（R4. 12. 6）においてJR九州から示された「検討すべき6つの課題」に対応するため、県・地元12市町村で「JR肥薩線復興方針」を取りまとめ、第5回検討会議（R5. 12. 13）で報告
- ・ これに対しJR九州から「『観光による振興』だけでなく『日常利用の創出』を考える必要がある」と要望があり、第6回再生協議会（R6. 2. 28）で『観光利用』と『日常利用』の両方の視点を重視しながら利活用策の検討を深めていくことを確認

R6年度の取組み

- ◆基本合意の締結
 - ・ 第7回検討会議（R6. 4. 3）において、JR九州はJR肥薩線の鉄道復旧の方向性について合意するとの見解を示し、翌日のR6. 4. 4に、県とJR九州は『JR肥薩線（八代～人吉間）の鉄道での復旧に関する基本合意書』を締結
- ◆最終合意に向けたアクションプランの策定
 - ・ 『観光を軸とした日本一の地方創生モデルの実現』と『マイレール意識の醸成による日常利用の創出』の2つをテーマに、地元12市町村等で構成するプロジェクト推進ワーキンググループを設置。最終合意に向けたアクションプランを策定。
 - 令和6年度末の最終合意を目指す



令和6年度中の
最終合意を目指す

◆観光を軸とした
創造的復興の実現

人吉・球磨地域の延べ宿泊数は豪雨前と比較して9割まで回復
(R1: 約30万人⇒R5: 約27万人) したものの、観光目的の宿泊者数が
完全に回復できていない状況

更なる誘客促進、
基盤強化、観光
コンテンツの充実が必要

<令和6年度重点取組>

①交流人口拡大のための誘客促進、観光産業の基盤強化

◆交通機関利用の旅行商品等支援

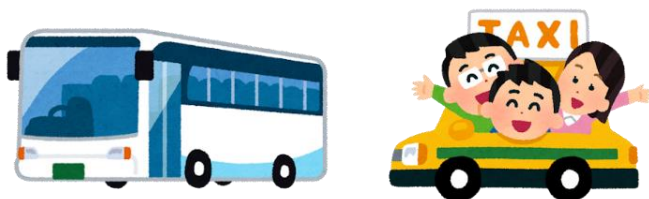
被災地域向けの宿泊・日帰り旅行に伴う
交通機関の利用を組み込んだ旅行商品等へ
の支援

○旅行商品割引

- ・大型・中型バス1台あたり
宿泊7万円・日帰り5万円
- ・小型・マイクロバス1台あたり
宿泊5万円・日帰り3万円
- ・タクシー 4千円(宿泊のみ)

○レンタカー利用助成

4千円(宿泊のみ)



◆経営安定、雇用維持・創出

- ・経営者に対し、スキルアップセミナーや経営改善のためのコンサルティングを実施。
- ・求職者に対し、観光業界の魅力を伝えるセミナーと就職フェアを同時開催



◆受入環境整備等による基盤強化

宿泊事業者等が実施する地域一体となったDX化につながるシステムの導入等に係る経費への支援



予約サイトの構築



キャッシュレス化



地域交通
アプリの導入

<令和6年度重点取組>

②観光資源の更なる磨き上げ 観光コンテンツの充実

◆コンテンツを活用した賑わい創出、誘客促進

アニメ「夏目友人帳」など、地域ゆかりのコンテンツを活用した周遊促進企画等の実施

©緑川ゆき・白泉社／「夏目友人帳」製作委員会



AR・デジタルスタンプ
ラリーアプリの配信



人吉市内における
影絵の点灯



小冊子・地球の歩き方
「妖怪がつなぐ球磨川流域
13市町村の歩き方」制作

「くまモンタウン人吉」を周遊するツアーや、
ファンクラブイベント（ディナーショー）等の実施



くまモンレンタカー



体験コンテンツ



ディナーショー

③球磨焼酎の更なるブランド化 販路拡大・海外展開

◆球磨焼酎の魅力発信・販路拡大

球磨焼酎の認知度向上や国内外の販路
拡大のため、大都市圏でのPRイベント
の実施、酒蔵ツーリズムの推進



大阪梅田地区の商業施設と連携した
球磨焼酎フェア



酒蔵ツーリズム推進

（国内外コンペティションにおける受賞（一部））



プラチナ
賞

Kura
Master2023



金賞

TWSC2023



金賞

FWWC2023

**◆地域の特色を活かした
産業活性化と雇用の創出**

新たな県営工業団地(八代地域)の整備

背景及び現状

- 令和3年11月に、半導体受託生産世界最大手の台湾TSMCの熊本進出が決定
- 周辺地域では、半導体関連企業の進出が相次いでいる一方で、県南地域からは進出効果が感じられないとの声がある
- 本県への注目が集まる中、工業用地の需要は確実に高まっており、波及効果を実感いただくため、県南地域にも新たな企業が進出できる環境を整えることが重要

R5年度までの実績

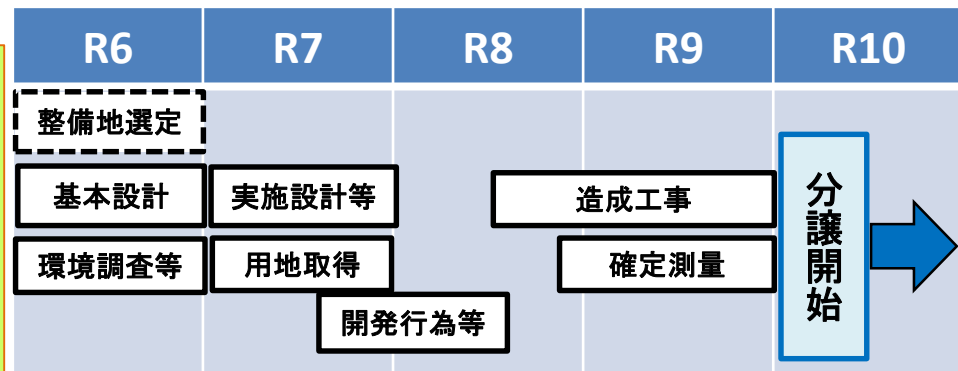
- 県議会の令和5年12月定例会で、「県南のみならず南九州の拠点を目指す八代地域における県営団地の整備の検討に着手」することを発表(知事答弁)
- 県が主体性を持って、企業誘致の受け皿となる工業団地を整備することで、物流や半導体関連にとどまらず食品関連企業など、地域の特性が活かせる企業を呼び込み、TSMC進出効果を着実に県南地域に波及させることが期待できる

R6～の取組みの方向性

<事業概要>

- 総事業費：約35億円(想定)
- 整備面積：約25ヘクタール
- 整備内容：大規模製造業等誘致の受け皿となる工業団地の新規整備
- 負担割合：県10/10
- 事業主体：県
- 事業期間：令和6年度～9年度(約4年間)

<県営工業団地の整備に係る標準スケジュール>



※一日でも早い分譲開始に向け、今後あらゆる方策を講じ、早期整備につなげる考え

県南地域への企業誘致の促進

背景及び現状

- TSMCの熊本進出を契機に、半導体産業を始めとする多くの企業が県北地域への進出を加速化し、企業集積が進んでいるが、県南地域への進出は低調
＜過去5年間の立地件数＞

	R1	R2	R3	R4	R5
県全体	34	41	59	61	72
県南地域	13	14	20	19	14

- 県南地域では、小規模な投資と雇用でも進出が可能なIT企業等のオフィス系企業の立地を目指す市町村が多いが、必ずしも進んでいる状況にない

R5年度までの実績

- 球磨川流域における新たな産業の創出を実現するため、企業立地補助金の肝となる「雇用要件」や「投資要件」を大胆に緩和する「球磨川流域復興枠」を創設（R5年度末まで）
- 令和3年度に「球磨川流域復興枠」を創設して以降、当制度を活用し、令和6年3月までに11件の協定を締結。補助金の投資要件や雇用要件を緩和したことで、投資意欲が喚起され、企業の撤退や縮小の抑止につながったものと評価。

R6～の取組みの方向性

＜県南地域企業誘致促進事業＞

- 重点5分野産業※¹をはじめとする全産業に対して、フォームマーケティング方式※²による誘致マーケティング営業を実施

※1:セミコンダクタ、モビリティ、新エネルギー産業、食品バリエーション、IT・コンテンツ

※2:企業のホームページにある「お問合せ」欄に、企業誘致案内文を直接入力し送信して、反応を待つもの

- 県南地域の高校2年生を対象とした、食品製造業、一般製造業等の工場見学バスツアーを実施
- 県南市町村等との企業誘致に向けた連絡調整等

＜県外IT企業・コンテンツ関連企業等ネットワーク構築事業＞

- 全国のIT企業等4,000社にも、別途フォームマーケティングを実施
- フォームマーケティングに反応があった企業に対し、個別に折衝を図る（訪問、オンライン面談等）
- 具体的な進出希望先が県南地域である場合、企業の現地視察のツアーを実施するとともに、立地に至るまでの伴走型の細やかな支援を行う



若者の地元定着促進に向けた取組み

背景及び現状

- 県南地域の令和6年3月新規高卒者の管内就職率は、22.4%で県平均(27.0%)よりも低い。特に球磨地域は19.3%と低迷しており、若者の地元定着促進の取組みが必要。

R6～の取組みの方向性

＜関係団体との連携による情報交流＞

- 商工会議所や商工会、県南広域本部や芦北・球磨地域振興局と連携し、**地元企業との情報交流を進める。**

＜ワンストップ就労相談窓口の設置＞

- 令和4年7月に球磨地域振興局に設置した「**人吉・球磨地域復興支援人材確保ワンストップ就労相談窓口**」で、若者へのきめ細かな就労支援を行うほか、各校に配置されたキャリアサポーター等と連携し、中学・高校等での出張講話などを通じて、**中高生やその保護者等に地元就職のメリットや地元企業の魅力を伝える。**

＜人材確保コンシェルジュ派遣事業＞

- 県南・天草地域の企業の魅力を高めるなど、**採用力を向上させるため**、令和6年度から、当該地域の企業に重点的に「**人材確保コンシェルジュ**」を派遣し、**若者の地元就職につなげる。**



出張講話の様子

森林資源のフル活用による“ひかり輝く”五木村の実現

○R6年度より、五木村の「宝」である豊富な森林資源をフル活用し、様々な実証事業等に取り組むことで、森林整備の推進・人材確保等を通じた林業の活性化を図る。

1 循環型林業の構築を通じた林業の活性化



低コスト造林技術の実証・研修



先進的架線集材の普及促進



花粉の少ないコンテナ苗生産体制整備・植替え

2 林業を支える「人財」の発掘・育成



くまもと林業大学校(県南校)の機能強化



新規参入促進のための研修の強化



林業DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

4 県有林の利活用(再掲)

1～3に示す各種取組みの実施に当たり、五木村内の県有林約2,500haを研修、実証等の場として利活用





森林資源をフル活用した林業振興

3 森林が生み出す新たな利益の最大化



森林サービス産業の創出

J-クレジットを活用した森林整備の促進



クレジット創出者: 植林・間伐等
クレジット購入者
資金
クレジット
制度事務局HPより



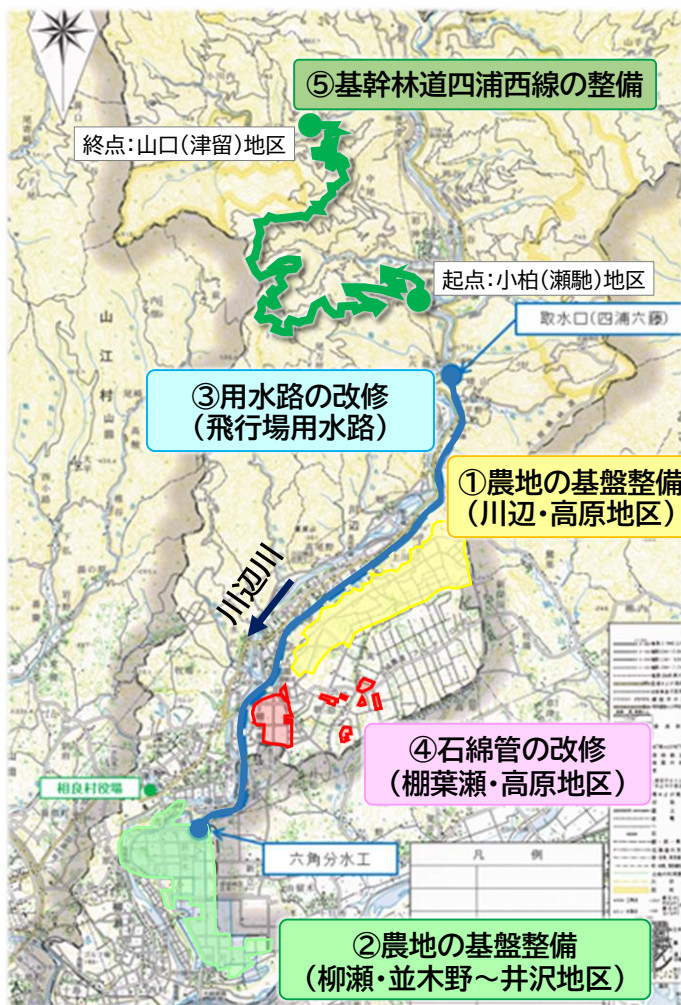
収集された温度、湿度、日照等の気象データを集計し、パソコン・スマホ等で誰でも見える化する
日照センサー
温度センサー
湿度センサー
通信端末

特用林産物栽培のDX化の推進

相良村における農林業生産基盤の整備推進

○相良村振興策「未来につなげるむらづくり」を実現するため、農林水産分野では「災害に強いむらづくり」と「地域産業の再生」に資する農林業の生産基盤の整備を推進。

○令和4年度に「相良村振興に係る農業農村整備事業検討PT」を設置し、地元農家の意向を踏まえた地域農業の将来像や技術的な課題等の検討のため、これまでに6回の会議を開催。



①農地の基盤整備(川辺・高原地区)



○農地の区画拡大による生産性向上を目指す
○高原地区の一部(30ha)についてはR5年度から先行して着手
○残り180haについては地元合意形成のための整備構想を策定中

②農地の基盤整備(柳瀬・並木野～井沢地区)



事業推進委員会

③用水路の改修(飛行場用水路)

水路トンネル天井の剥落



劣化状況調査

④石綿管の改修(棚葉瀬・高原地区)



○石綿等が使用されている農業用管路について変更等を行う。
○OR7事業着手に向け、本年度採択申請予定

⑤基幹林道四浦西線の整備



⑤基幹林道四浦西線の整備

○林業振興や山村地域の活性化に加え、災害時におけるリタンドンシーの確保に向け、新たな林道の整備に着手。
○令和6年度に全体計画を策定し、R7年度工事箇所の詳細測量設計を実施予定。

県南地域における「農業」と「食」を軸とした復興支援

- 県南地域に経済効果をもたらす企業の農業参入を促進するため、被災地域に農業参入する企業への支援を拡大。また、企業の農業参入に係る県南地域の市町村の受入体制を整備。
- 「くまもと県南フードバレー構想」の更なる推進の中で、地元農林畜水産物を活かす地場企業育成と新たな「食」関連企業誘致。

県南地域における企業の農業参入促進

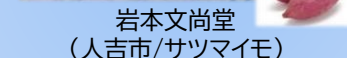
- ①被災地域への企業の農業参入・規模拡大の支援拡大(R3~)
 - ・参入から規模拡大までの施設整備等の補助率高上(1/3→1/2)
- 【被災後の主な支援企業】



亀萬酒造合資会社の農業参入に伴う
津奈木町との地域調和等に関する協定締結式



小川衛生公社
(あさぎり町/タケノコ)



岩本文尚堂
(人吉市/サツマイモ)



亀萬酒造
(津奈木町/酒米)

- ②県南市町村との個別意見交換の実施(R4~)
- ・企業誘致に関する意向調査と課題把握(12市町村、のべ20回)

R6重点

- ③県南市町村を対象とした企業の農業参入・受入体制整備(R6~)
- ・市町村を対象とした企業参入に関するセミナーの開催
- ・市町村の受入体制整備に向けた個別フォローアップ(県南重点)
- ・市町村と企業等の交流会の開催(県南重点)

「くまもと県南フードバレー構想」の更なる推進

- ①アグリビジネスセンターの活用による高付加価値商品開発の強化
- ・農林畜水産物の高付加価値化
(五木村特産「くねぶ」を使った商品開発等)

- ②新たな「食」関連企業の誘致と地場企業の育成
- ・地域未来投資促進事業を活用した、食品加工業者による施設整備の支援

R6重点

- ③「RENGA」ブランドのブラッシュアップ
- ④販路拡大及び海外へのアプローチを強化
- ・球磨川流域地域産品流通拡大支援(福岡・大阪での熊本フェア等)
- ・農林畜水産物及び加工品の輸出拡大・インバウンド向けPRの強化



フードバレーフェスタ(花畑町)



県南マルシェ(大阪)



インバウンド向けPR

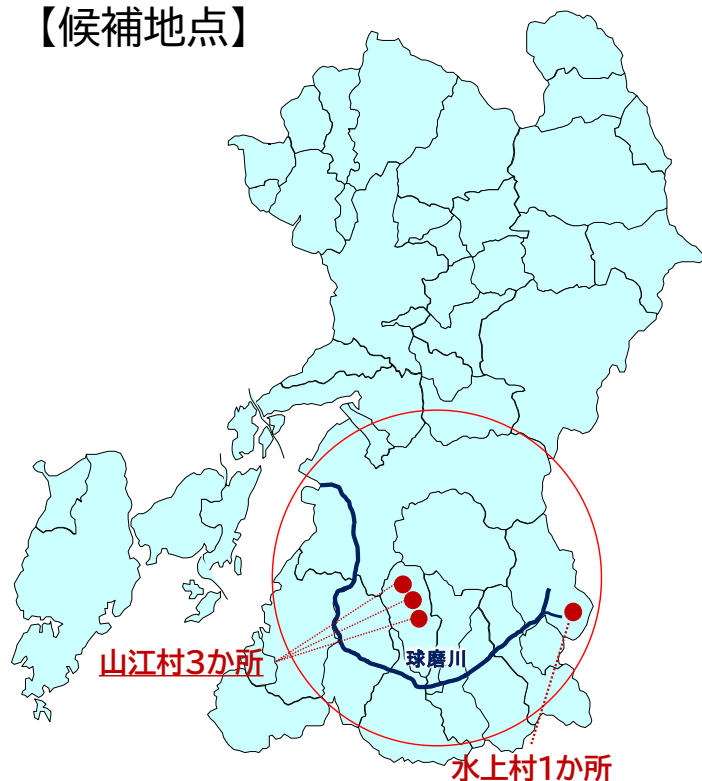
地域資源を生かした再生可能エネルギーの導入推進

球磨川流域における新規小水力発電所の開発可能性調査等

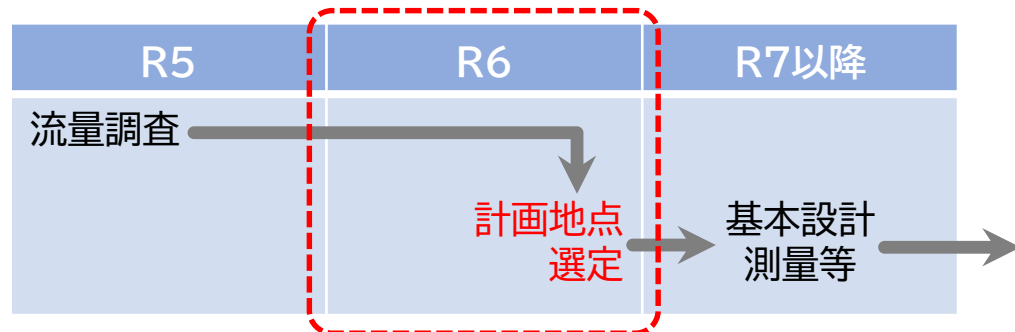
- ① 令和5年度から、候補地点4か所（水上村1・山江村3※）の流量調査を開始
令和6年度中の計画地点選定を見込む

※山江村のうち2地点は、砂防堰堤活用

【候補地点】



【スケジュール】



【参考】

砂防堰堤活用例



- ② 市町村や地域団体に取り組む小水力発電施設整備等への技術支援を実施（継続）

◆若者が定着・還流する
環境の創造

キャリア教育及び就職支援の取組み

【キャリア教育】

- 企業連携コーディネーター2人を高校教育課に配置し、高校と連携企業のマッチングを行い、地域と連携したキャリア教育を推進する。
- キャリア教育充実事業や県立高校半導体関連人材育成事業を活用し、地元企業を中心とする企業見学や出前授業等をサポートする。本年度も人吉高校、南陵高校、球磨工業高校の生徒が、県内企業見学や出前講座に参加予定。



令和5年度 ルネサス錦工場の見学
(人吉高校定時制の皆さん)



令和5年度 ルネサス錦工場の出前講座
(クリーンスーツを着する球磨工業高校の生徒)

【就職支援】

- 球磨中央高校、南陵高校にキャリアサポーターを、球磨工業高校に熊本しごとコーディネータを配置し、高校生に対する就職支援や地域産業への理解促進、県内企業に関する情報提供を行う。
- 社会生活への円滑な移行や早期離職防止の支援等を実施する。



球磨川流域の魅力ある学校づくり

和綿の里づくりを通じた地域貢献・体験学習の取組み(人吉球磨県立6校連携)

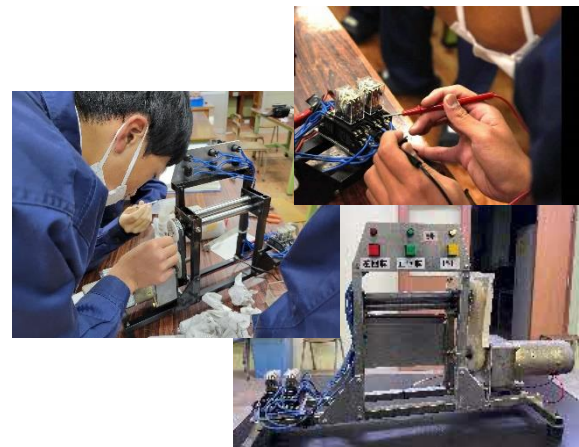
- 人吉球磨地域の県立高校5校（普通・工業・商業・農業）及び特別支援学校1校の持ち味を活かし、和綿の里づくりを通じた地域貢献・体験学習を行う。
- 和綿の栽培を通して、和綿製品のPR、商品開発、情報を活用したPRなどで、地域の活性化を図る。



耕作地の草払い（南陵高校）



小学生とともに和綿の収穫作業



球磨工業高校制作の電動綿繰り機とメンテナンスの様子

【役割分担】

- 人吉高校：農作業及びホームページでPR、ドローンを使つての動画撮影
- 球磨工業高校：農作業及び綿繰り機のメンテナンス
- 球磨中央高校：農作業及び商品開発・販売
- 南陵高校：農作業及び綿のシン止めや草払いの指導
- 五木分校：プランタで和綿の栽培
- 球磨支援学校：実践発表会での展示

球磨川流域の魅力ある学校づくり

(人吉高校五木分校魅力化の取組み)

- 東京大学先端科学技術センター（東大先端研）との連携を本格化し、五木村の地域資源と最先端の科学技術を掛け合わせた五木分校独自の課題解決型の探究学習を実施する。
- 探究活動の推進及び外部連携を推進するコーディネーターを配置し、中学校向け魅力発信を強化する。



連携授業では、VR体験、防災まちあるき、特産物の調査等を実施。



プランの実現に向けて

復興基金を活用した市町村支援

事業概要

球磨川流域復興基金（全38事業）

- ① 被災者の生活支援（7事業）
- ② 被災宅地の復旧支援（2事業）
- ③ 住まいの再建（6事業）
- ④ 公共施設、地域コミュニティ施設等の復旧支援（13事業）
- ⑤ 産業振興（4事業）
- ⑥ 防災・減災対策（2事業）
- ⑦ 復興まちづくり支援（4事業）

支援

【参考】交付実績

R2: 234,504千円
R3: 595,550千円
R4: 588,422千円
R5: 284,716千円

流域市町村

被災者
被災事業者

直近の追加事業

R6 【グリーンニューディール創造支援事業】

令和2年7月豪雨からの創造的復興に向け、人口減少が進む被災地の地域課題解決に向けた新たなプロジェクト・事業の創出を目的とする、地域横断的なプラットフォーム（協議会等）の構築・運営に要する経費を支援

【豪雨災害の記憶・教訓伝承推進事業】

令和2年7月豪雨の経験や教訓の発信等に必要な経費を助成

R5 【消防体制強化推進事業】

今後の激甚化・広域化する災害に的確に対応するため、球磨川流域等の市町村を管轄する消防本部が取り組む消防指令の共同運用や消防広域化の検討など消防力強化に必要な経費を負担する市町村を支援

【復興まちづくり拠点施設整備等支援事業】

復旧・復興プランに掲げられた将来ビジョンの実現に資する復興まちづくり拠点施設を整備する市町村、または、拠点施設を整備する地域団体等に対し費用を助成する市町村を支援する。

復旧・復興のフェーズ、市町村のニーズに応じて、随時事業の追加を行いながら市町村を支援

五木村・相良村の振興

<令和6年度の主な動き>

R6. 4. 12 川辺川ダム建設促進協議会による「川辺川の流水型ダムの早期完成に関する要望」

R6. 4. 12 「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価準備レポート」の知事意見提出

R6. 4. 18 木村知事が就任後、初めての市町村訪問先として、五木村・相良村を訪問

五木村

R6. 4. 21 五木村が「五木村の新たな村づくりの方向性に関する村民集会」を開催

木下村長は「流水型ダムを前提とした村づくり」に向けて、新たなスタートラインに立つと表明

R6. 5. 27 五木村・村議会が「“ひかり輝く” 新たな五木村の早期実現に向けた地域振興に関する要望書」を県へ提出（翌28日には、国土交通省、財務省へ要望）



R6. 8 各地区で行政座談会（村主催）を開催し、村民と意見交換を実施（国・県同席）

相良村

R6. 6. 29～30 緑の流域治水の取組みに関する村民説明会を開催

有識者同席のもと、国、県から取組み内容について説明



行政座談会や各種説明会等を通じ、直接村民のご意見をお聴きしながら、
村・県・国の三者で一体となり、両村の振興を目に見える形で推進

広域本部・地域振興局からの報告

県南広域本部

県南地域の人手不足解消に向けた取組みについて

1 県南3局が連携した就職イベントの開催

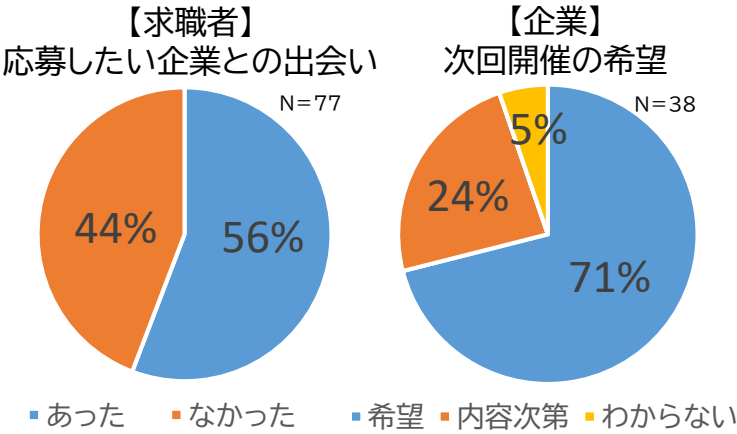
県南地域の喫緊の課題である人口の社会減及びそれに伴う
地元企業の人手不足に対応するため、県南地域にゆかりのある若者を中心とした**求職者と地元企業によるマッチング会**を
県南広域本部3局合同で、昨年度に引き続き開催する。

また、市町村のUIターン担当等による**移住相談会**も併せて実施することで事業効果の拡大を図る。

< R5開催概要 >

- 開催日 令和6年2月10日（土）
- 場所 桜十字ホールやつしろ
- 内容 第1部 合同企業説明会（対象：高校生及び大学生等）
第2部 **就職マッチング会（対象：求職者等）**
- 参加者実績
 - ・企業 42社（県南3地域）
 - ・求職者等 182名（第1部：90名、**第2部：92名**）
- 成果
9企業9名就職（R6.6月現在）

R5参加者の声



< 八代青年会議所との連携 >

八代青年会議所では、地元高校生を対象とした就職イベント（合同企業説明会）を開催。

（R5は小中高生を対象とした就職イベントを開催）

⇒県（広域本部）は事業の実施に向け、意見交換を行っているほか、地域づくり夢チャレンジ推進補助金で支援。



県南地域の交流人口拡大に向けた取組みについて

2 サイクルツーリズムの推進

- 八代及び水俣・芦北地域において**サイクルツーリズム**を定着させ、同ツーリズムをフックに国内外からの交流人口の拡大及び地域の賑わい創出につなげる。
- 八代海沿岸のサイクリングコースを舞台に、昨年度初めて開催したサイクルイベント「くまもとみなみ★おれんじシーサイドライド」を発展させ、今年度は、**台湾からの参加**も期待できるイベントとして開催する。

◆ 昨年度のイベントの様子

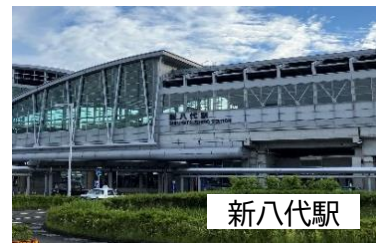


- ・一度に自転車と鉄道の旅（往路 自転車／復路 貸切のおれんじ鉄道）を満喫できる全国でも珍しいサイクルイベントとして、九州各県から138名の参加があった。
- ・参加者からは、「沿岸線の景色が最高だった」、「地元の振る舞い食が美味しかった」など高評価であった（満足度：4.3点／5.0点）

3 県南地域の魅力発信

（1）県南15市町村合同の観光物産イベント開催

- 新たに、熊本都市圏住民を対象としたイベントを**県南地域の交通結節点である八代で開催**し、県南の魅力と、**交通アクセスの利便性**を周知することで、再訪につなげる。



新八代駅



イベントのイメージ

（2）インフルエンサーを活用した情報発信

- 台湾における認知向上**を図り、**誘客促進**につなげるため、昨年度に引き続き、拡散力のあるトラベルインフルエンサーを招請し、SNSでの発信を継続する。

◆ 昨年度の投稿（一部）



台湾インフルエンサーの投稿
（青井阿蘇神社等）



日本人インフルエンサーの投稿
（肥薩おれんじ鉄道）

- ・昨年度は5名のインフルエンサー（※）を招請し、各自で投稿した動画が再生回数**計100万回を超え、保存数も2万回を超えた**。
（※：台湾人3名／日本人2名）

芦北地域振興局

地域の交流促進(芦北地域振興局①)

交流拠点の整備

・一般社団法人「おかえり集学校」が、廃校（旧海浦小）を活用したIT交流施設を設置、地域の交流拠点をめざす。



芦北町とおかえり集学校との進出協定



プレオープンに向け準備中の旧海浦小学校

交流機会の創出等(夢チャレ補助金等による支援)

<芦北町>

- ・お試しワーケーション事業
- ・事業承継支援事業



親子ワーケーション事業

事業承継者の声

本町で本事業を活用して、ゲストハウスの事業を承継された方にお話を伺いました。



前オーナー
山口 賢司 さん

建物を取り壊すのはもったいないと考えていましたし、なによりたくさんの方に親しまれたゲストハウスを残したい気持ちが大きかったので、センターへ相談しました。良い人へ引き継いでもらえて、妻と共に安心しました。

前オーナーのゲストハウスへの思いや愛がとてもしっかりと受け継がれ、そのようなお気持ちも大切にしつつ、新たに多くの人たちが交流できる場所へと進化させ、観光の拠点となるような施設にしていきたいと考えています。



新オーナー
前田 一徳 さん (中央)

※写真は事業承継した IN THREE 社の3人兄弟で前田一徳さん(左)前田一徳さん(中央)前田一徳さん(右)

町内での事業承継の事例

<津奈木町>

- ・つなぎ型関係人口創出事業
- ・さかなクンを活用した地域魅力発信事業



大学生との交流イベント
(福岡市内)



管内さかなクン活用事例
(R5 芦北町)

なりわい・産業の再生と創出(芦北地域振興局②)

サテライトオフィスへの企業立地等

- ・ 芦北町のサテライトオフィスにIT系企業等が立地（13社）
- ・ 首都圏での交流イベントを実施
- ・ 水俣・芦北地域雇用創造協議会で「IT人材育成セミナー」を開催



IT企業立地協定



IT人材育成セミナー

地域産業の再生支援

- ・ 地域産品による新商品開発、都市圏・海外向け販路拡大
- ・ TSMC社内イベント「2025年貨大街」への出展
- ・ マガキの養殖や販路拡大、アサリ資源の再生



台湾高雄市における展示販売会



食害防止のための被覆網設置

地域産業の担い手確保

- ・ 高校生の就職支援(地元企業見学会、就職模擬面接会等)
- ・ 県南3局連携による合同企業説明会・就職マッチング会（R6.2月）



地元企業説明会(しごと発見塾)



県南3局合同企業説明会

地域の賑わい創出

〇くまモンファーム事業

- ・ 収穫や食の体験とくまモンを掛け合わせた旅行商品を開発・販売

〇うたせ船の振興

- ・ 少人数で体験できる旅行商品(観光うたせ船乗り合い便)を開発・販売し、YouTube等で情報発信



くまモンファーム事業



観光うたせ船(台湾向け情報発信)

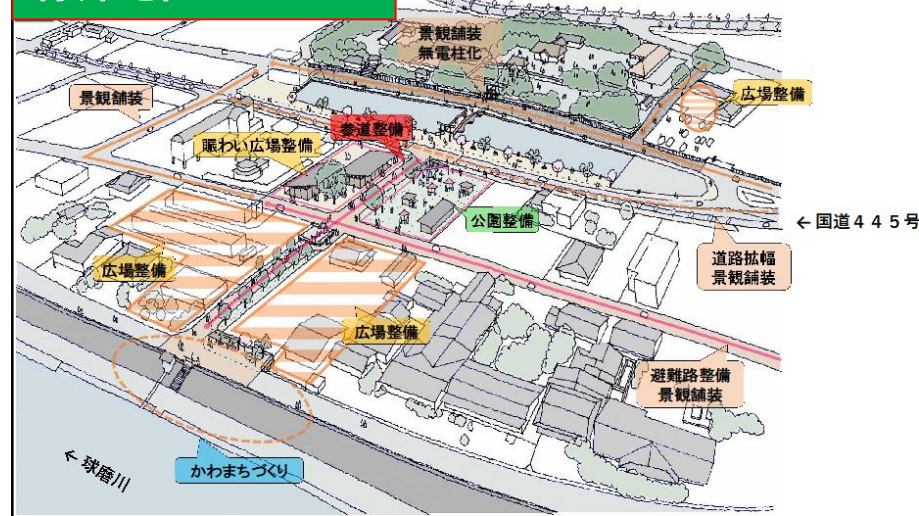
球磨地域振興局

復興まちづくり、むらづくりに向けて(球磨地域振興局①)

人吉市復興まちづくり計画（R4.3） 「人吉市まちなかグランドデザイン」



青井地区イメージ



○人吉市、民間、国、県で構成される人吉市復興デザイン会議（仮称）に参画。同時並行に進む各地区のまちづくり関係事業について、関係者で協議・連携し、統一デザインで事業を推進。

○復興まちづくりを円滑に進めるため、県と人吉市の関係部局で定期的に連絡調整会議を開催しながら事業を進めていく。

○その他、管内市町村の復興まちづくり、むらづくりの計画を踏まえ、ハード、ソフト両面で復興を支援（人吉市、相良村、山江村、球磨村）

山田川・紺屋町地区イメージ

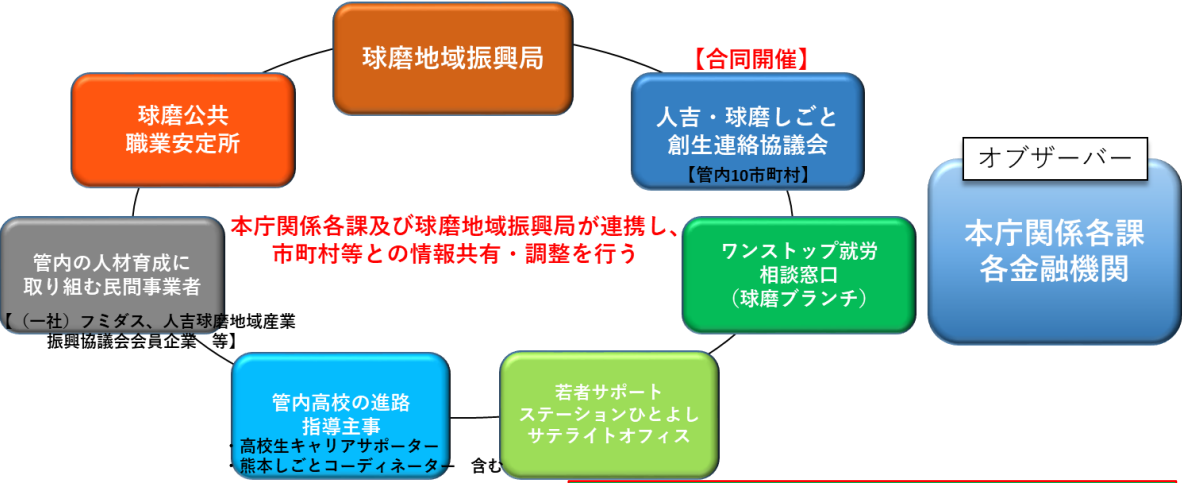


地域経済の維持・活性化に向けて(球磨地域振興局②)

球磨地域産業振興連絡会議



○地域の産業振興や雇用の課題解決のため、令和4年度から官民27機関による「球磨地域産業振興連絡会議」を実施。引続き地域内事業所と人材のマッチングや、事業承継等の取組みを進める。



取組内容

- ・ 支援情報等の共有
- ・ 勉強会の開催
- ・ 人材確保相談
- ・ マッチング支援
- ・ セミナー等の主催
- ・ 相談窓口の広報 等

合同企業説明会 (R6.3)

人吉球磨雇用対策協議会 + 人吉球磨地域産業振興協議会 + 球磨地域産業振興連絡会議



ひごラボNEXT

○JICA・市町村・県が共同で地域課題解決に取り組む「ひごラボ」(R3~R5:マッチング件数40件)について、令和6年度からNEXTステージへ移行。3年間に渡って、各市町村ごとに特定テーマの深掘りを行い、解決を図る。



地域のチャレンジを応援(球磨地域振興局③)

第3回球磨川リバイバルトレイル (2024.11.16-17開催)



KUMAKOI祭り2024 がんばるばい ひとよしくま



※写真は23年度広報

○令和6年度地域づくり夢チャレンジ事業では、**17事業**を採択。管内市町村や民間団体の自主的な取り組みを支援。

くま川鉄道多良木駅の点字ブロックをクラウドファンディングを活用して補修



民間、くま鉄、高校、多良木町、振興局等の賛同11者で実行委員会

○くま川鉄道の支援のため、多良木駅の点字ブロック補修プロジェクト(民間発案)に参画。7/29-30に球磨工業高校、南稜高校、第二高校の生徒が張り替え作業を実施予定。

復興！日本遺産サイクリング inひとよしくま



○地元市町村、国、県、関係機関で構成するサイクルツーリズム推進協議会では、自転車道の計画的な整備や、サイクルツーリズムの環境整備等を実施。

大人の社会塾「ひとよしくま熱中小学校」



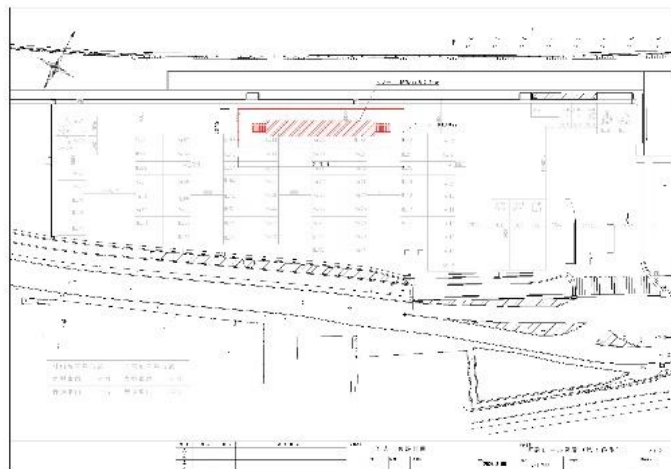
○全国から一流の起業家・経営者・大学教授等を招き、授業を行う「大人の社会塾」(R3年度から開始)。振興局でも受講枠を確保し、取り組みを支援。

SL人吉の人吉駅への設置(球磨地域振興局④)

- 令和6年3月に引退したSL人吉について、JR九州から人吉市が譲り受けることが決定。
- 設置場所は人吉駅前駐車場。
- 令和6年11月18日（SL人吉の誕生日）のお披露目を目指し、人吉市で準備を進めている。

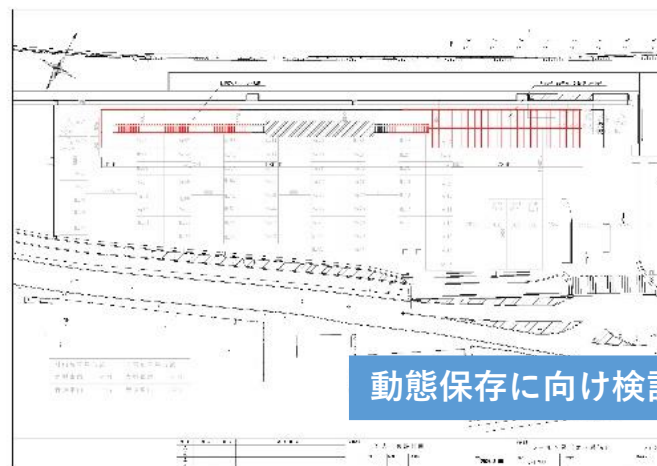
第一段階（R 6 年度）

- ・SL人吉の人吉駅前への輸送設置
- ・レール・フェンス設置 等



第二段階（R 7 年度）

- ・格納庫の設置
- ・レールの延長 等



動態保存に向け検討中

- 被災地では復旧・復興が進む一方、災害を契機とした人口減少の加速化や産業の衰退に直面しており、創造的復興は地域の再生・発展に向けた新たなフェーズに移行している。
- 今後、「復旧・復興プラン」を改訂し、「地域未来創造会議」等様々な機会を通して、球磨川流域の皆様の意見やアイデアを伺いながら、地域が主役となる取組みを追加した「新時代共創復興プラン」として取りまとめ、未来に夢のある新しい球磨川流域の実現に向けて、創造的復興の歩みを更に加速する。

フェーズ①
(復旧・復興)フェーズ②
(地域の再生・発展に向けて)

○これまでの復旧・復興プラン同様、期間は定めず、ロードマップに沿って進捗管理を行う。

令和2年7月豪雨からの
復旧・復興プラン

改訂

令和2年7月豪雨からの
新時代共創復興プラン

【目指す姿】

愛する地域で誰もが安全・安心に住み続けられ、
若者が“残り・集う”持続可能な地域の実現

喫緊の取組み

継続・加速

基盤的取組み

すまい・なりわいの再建、
道路・橋梁の復旧 等



再構成

地域の再生・発展
に向けた取組み中長期的な取組み
(将来ビジョン)

【ロードマップ(R2～R5)】
“緑の流域治水”の推進と
復旧・復興に向けた
重点10項目

⇒到達目標
概ね達成

【ロードマップ(R6～R9)】

追加

地域の意見・アイデアを反映

提言・意見反映

「くまもと復旧・復興有識者会議」
「住民の御意見をお聴きする会」

「地域未来創造会議」
「JR肥薩線プロジェクト推進WG」
「お出かけ知事室」 等

<取組みの柱>

※取組みは例示

I 「緑の流域治水」の更なる推進による
1日も早い安全・安心の実現

◆「緑の流域治水」の推進

- ・「流域治水プロジェクト」「河川整備計画」の推進
- ・「命と清流を守る」流水型ダムの整備促進
- ・防災・減災力の強化

◆すまい・コミュニティの創造

- ・安全・安心な住まいの確保
- ・誰もが暮らしやすい魅力あふれるまちづくり

◆災害に強い社会インフラ整備

- ・道路・橋梁の創造的復興
- ・くま川鉄道・JR肥薩線の復旧

II 若者が“残り・集う”産業・雇用の創出

◆観光を軸とした創造的復興の実現

- ・球磨川と鉄道の2つのラインを活かした新たな振興モデルの創出
- ・地域の観光資源とアニメなどの観光コンテンツを活用した賑わい創出

◆地域の特色を活かした産業活性化と雇用の創出

- ・森林資源をフル活用した“緑の雇用”の創出
- ・環境に最大限配慮した流水型ダム建設を活かした周辺産業の活性化

◆若者が定着・還流する環境の創造

- ・若者が魅力を感じる学びの場の創出
- ・学校と地元企業をつなぐ仕組みづくりやキャリア教育の実施

年内にプランを改訂

※本プランは「くまもと新時代共創基本方針・戦略」の中でも位置づけていく予定です。